

第5次茨木市総合計画

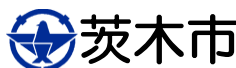
第6期実施計画

令和2年度
(2020年)

～

令和6年度
(2024年)

令和2年7月



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

目 次

第 1 実施計画の概要

| | |
|--------------------|---|
| 1 実施計画の位置づけ | 1 |
| 2 計画期間と計画の運用 | 2 |
| 3 施策体系 | 2 |

第 2 第 6 期実施計画

| | |
|---------------------------------------|----|
| 1 実施計画の見方 | 4 |
| 2 総括表 | 5 |
| 3 第 6 期実施計画 | 6 |
| (1) とともに支え合い、健やかに暮らせるまち | 6 |
| (2) 次代の社会を担う子どもたちを育むまち | 16 |
| (3) みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち | 25 |
| (4) 市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る安全安心のまち | 34 |
| (5) 都市活力がみなぎる便利で快適なまち | 40 |
| (6) 心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち | 56 |
| (7) まちづくりを進めるための基盤 | 63 |

第1 実施計画の概要

1 実施計画の位置づけ

第5次茨木市総合計画は、次の3層で構成されています。

- ◎基本構想：まちの将来像とそのめざすべき方向性を示す。
- ◎基本計画：基本構想に掲げるまちの将来像の実現を図る施策と取組の内容（施策別計画）、都市構造、財政計画を示す。
- ◎実施計画：基本計画で定めた取組を実現する具体的な事業内容を示す。

実施計画は、総合計画に掲載されている各施策を効果的に進めていくために、施策評価の結果をはじめ、社会情勢や財政状況を踏まえつつ、具体的な事業の計画を作成するもので、予算編成や事業執行の指針となるとともに、市の取り組む事業について市民に分かりやすく伝えることにより、行政の説明責任を果たすものです。

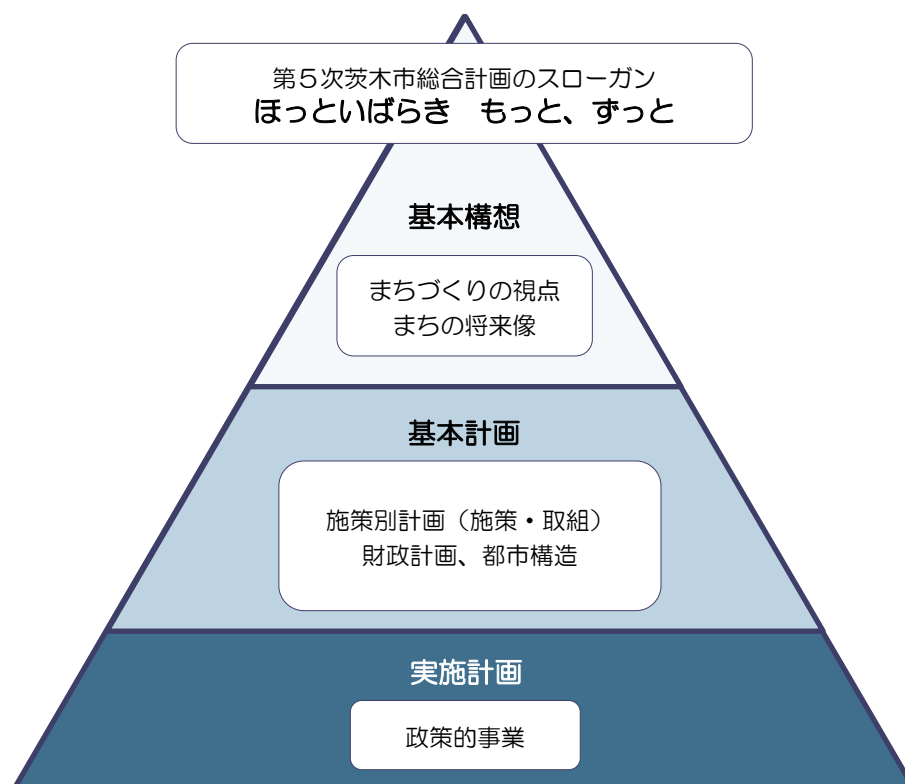


図1 第5次茨木市総合計画の体系図

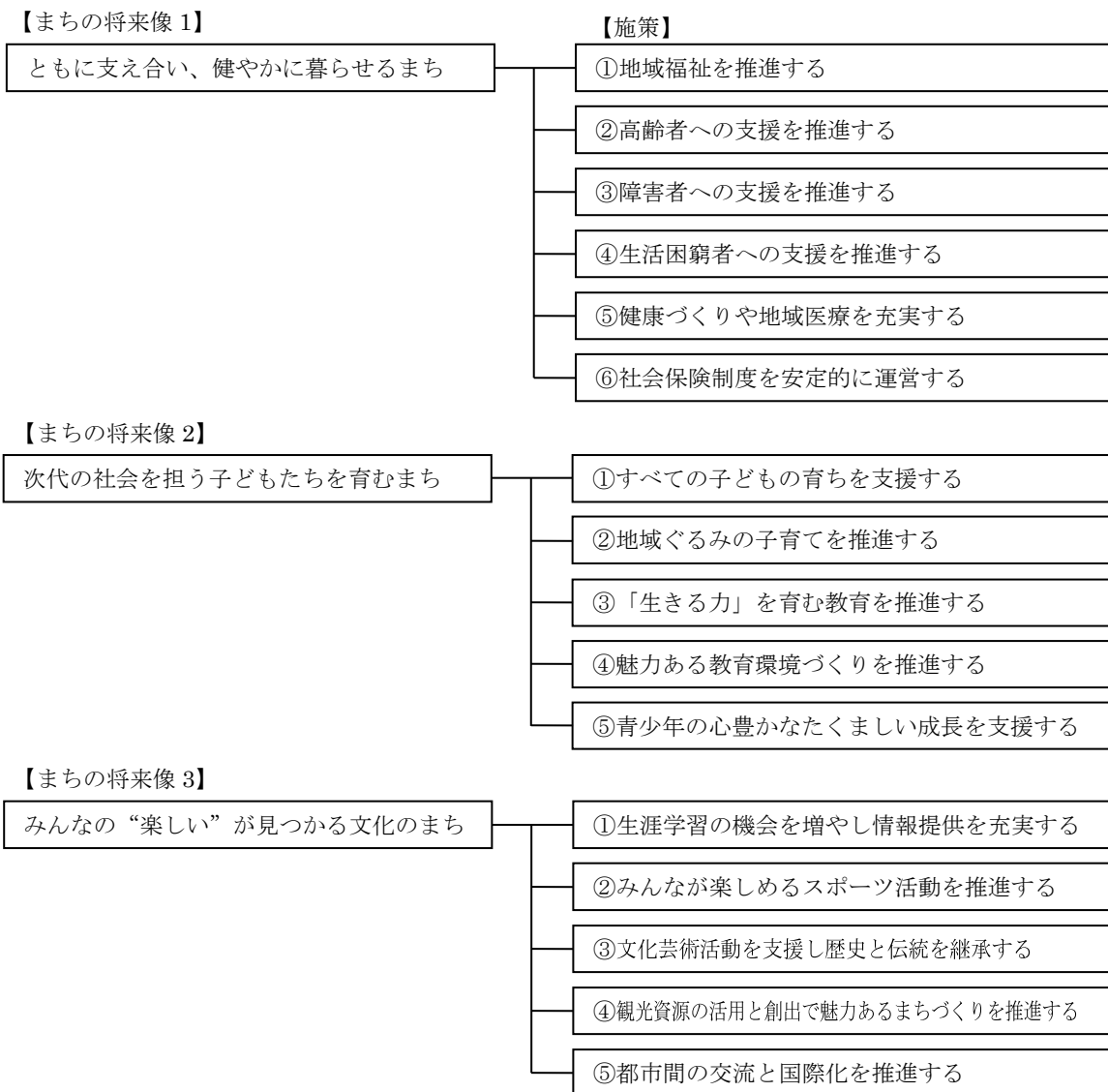
2 計画期間と計画の運用

実施計画の計画期間は令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とします。また、第5次茨木市総合計画の進行管理手法である施策評価の結果等を踏まえ、ローリング方式※で、毎年度、計画内容の見直しを行い公表します。

※ ローリング方式：社会情勢や財政状況の変化への対応、進捗状況の確認を行い、事業の立案、見直しや計画の修正を転がすように定期的に行っていく手法のこと。

3 施策体系

第5次茨木市総合計画基本構想を実現するための、後期基本計画における施策体系は以下のとおりです。



【まちの将来像 4】

市民・地域とともに備え、命と暮らしを守る
安全安心のまち

【施策】

- ①災害への備えを充実させる
- ②消防・救急体制を充実強化する
- ③防犯や多様な危機への対策を強化する
- ④消費者教育を推進する

【まちの将来像 5】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

- ①地域産業を基盤強化し雇用を充実する
- ②地域特性をいかした計画的な都市づくりを推進する
- ③良好で住みよい都市づくりを推進する
- ④時代の変化に対応した官民連携による都市づくりを推進する
- ⑤暮らしと産業を支える交通を充実させる

【まちの将来像 6】

心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち

- ①いごちのよい生活環境をたもつ
- ②バランスのとれた自然環境をつくる
- ③ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす
- ④きちんと分別で資源の循環をすすめる

【まちづくりを支える基盤】

まちづくりを進めるための基盤

- ①まちの魅力を市内外に発信する
- ②社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する
- ③地域社会の発展に貢献できる職員を育成する
- ④人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす
- ⑤市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす
- ⑥地域コミュニティを育み地域自治を支援する
- ⑦多様な主体による協働のまちづくりを推進する



第2 第6期実施計画

1 実施計画の見方

第5次茨木市総合計画基本構想を実現するための、令和2年度以降の新規・拡充等事業を示します。

<実施計画の見方>

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 1-1 | 地域福祉を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | 地域住民等の支え合いとも連動しながら、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず全世代・全対象型の包括的支援体制を推進し、すべての人が健やかに、支え合い暮らし、みんなが主役の地域共生のまちづくりを進めます。 | |
| 4 | 取組 | 1-1-1 | 多様な主体の協働による地域福祉の推進 |
| | | 1-1-2 | 地域における相談支援体制の充実 |
| | | 1-1-3 | すべての人の権利が守られる地域社会の推進 |
| | | | |

施策ごとに基本計画の内容を記載しています。

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|--|--------------|-----|-------|---------|
| 1 | 事業名 | 1-1-1 | 総合保健福祉計画推進事業 | 担当課 | 地域福祉課 | |
| | 目的 | すべての人が健やかに、支え合い暮らし、みんなが主役の地域共生のまちづくりの実現に向け、総合保健福祉計画を推進し、地域福祉の向上を図る。 | | | 方向性 | R2 臨時拡充 |
| | 内容 | 総合保健福祉計画（第2次）の分野別計画である高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、障害福祉計画・障害児福祉計画の次期計画の策定等を行う。 | | | R3 継続 | R4 臨時拡充 |

施策ごとに令和2年度以降に実施する各事業の事業目的や内容、事業の方向性等を記載しています。

前年度と比較した事業の方向性（令和3年度以降は見込み）を、次の8種類で示しています。

- 新規：新規事業として実施
- 継続：おおむね前年度と同様の事業内容で実施
ただし、当該年度の前年度が「臨時拡充」の場合は、臨時拡充前時点と比較した方向性
- 拡充：対象や事業内容の見直しにより、事業規模を拡充して実施
- 臨時拡充：単年度など期間を限定し、事業内容を拡充して実施
- 縮小：対象や事業内容の見直しにより、事業規模を縮小して実施
- 廃止：事業を廃止する場合（事業実施最終年度の翌年度に表示）
- 完了：事業が完了する場合（事業実施最終年度に表示）
- 新規完了：新規で実施し、単年度で完了する場合

※事業の方向性は現段階の見込みであり、今後の社会経済情勢等により変更となる場合があります。

2 総括表




第6期実施計画における、令和2年度における新規・拡充等事業の集計は次のとおりです。

| | 事業数 | | | |
|-------------|-----|-----|--------|----|
| | 新規 | 拡充等 | 縮小・完了等 | |
| 将来像 1 | 25 | 6 | 16 | 3 |
| 将来像 2 | 30 | 13 | 12 | 5 |
| 将来像 3 | 24 | 9 | 9 | 6 |
| 将来像 4 | 17 | 3 | 12 | 2 |
| 将来像 5 | 59 | 10 | 43 | 6 |
| 将来像 6 | 19 | 4 | 10 | 5 |
| まちづくりを支える基盤 | 31 | 4 | 23 | 4 |
| 計 | 205 | 49 | 125 | 31 |

【 まちの将来像1 】

ともに支え合い、健やかに暮らせるまち

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 1-1 | 地域福祉を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | 地域住民等の支え合いとも連動しながら、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず全世代・全対象型の包括的支援体制を推進し、すべての人が健やかに、支え合い暮らせる、みんなが主役の地域共生のまちづくりを進めます。 | |
| 4 | 取組 | 1-1-1 | 多様な主体の協働による地域福祉の推進 |
| | | 1-1-2 | 地域における相談支援体制の充実 |
| | | 1-1-3 | すべての人の権利が守られる地域社会の推進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |





2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|------|--|---------------|-----|-------|------|
| 1 | 事業名 | 1-1-1 | 総合保健福祉計画推進事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | すべての人が健やかに、支え合い暮らせる、みんなが主役の地域共生のまちづくりの実現に向け、総合保健福祉計画を推進し、地域福祉の向上を図る。 | | | | |
| | 内容 | 総合保健福祉計画（第2次）の分野別計画である高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、障害福祉計画・障害児福祉計画の次期計画の策定等を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 臨時拡充 |
| R5 | 臨時拡充 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 1-1-1 | 社会福祉協議会支援事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 茨木市社会福祉協議会に助成を行うことにより、行政との連携や事業運営の安定化を促進し、もって地域福祉の推進を図る。 | | | | |
| | 内容 | 茨木市社会福祉協議会が『茨木市社会福祉協議会中期財政改善計画』に基づき事業を整理するのにあわせて、同会の本来的な役割である「地域福祉」を推進するための事業が効率的・効果的に実施されるよう、助成内容の見直しを行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 1-1-2 | 地域包括支援センターの増設 | 担当課 | | |
| | 目的 | 地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、中核的役割を担う地域包括支援センター機能の充実・強化を図る。 | | | | |
| | 内容 | 令和3年4月に、地域包括支援センターを11か所から12か所へ増設する。 令和5年度までに、地域包括支援センターを14か所設置する。 また、14か所中5か所の地域包括支援センターは、新設する地区保健福祉センター内に設置する。経費として、センター業務委託料、システム賃借料などを計上する。 | | | 相談支援課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| R4 | 拡充 | | | | | |
| R5 | 拡充 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 4 | 事業名 | 1-1-2 | 地区保健福祉センターの設置 | 担当課 | | |
| | 目的 | 子どもから高齢者、障害者、生活困窮者等の個人のみならず、世帯における生活上の不安や悩みなどを包括的に受けとめ、適切な支援制度等へ迅速につなぎ、世帯が抱える問題の早期解決を図る地域のワンストップ窓口として、（仮称）地区保健福祉センター5か所を整備する。 | | | | |
| | 内容 | 令和3年度に、（仮称）地区保健福祉センターを1か所開設し、令和5年度までに全5か所の開設を目指す。 経費として 令和2年度は、センター開設準備費（事務所備品、消耗品等）を計上し、令和3年度以降は、センター開設準備費に加え、センター運営費（営繕、消耗品等）を計上する。 | | | 相談支援課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| R4 | 拡充 | | | | | |
| R5 | 拡充 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|------------|--|------------|----|--|
| 5 | 事業名 | 1-1-3 包括的支援事業（高齢者権利擁護事業） | 担当課 | | |
| | 目的 | 虐待に発展することを未然に防ぐため、相談支援体制を強化するとともに、早期発見から迅速な通報につなげ早期解決が図れるよう、関係機関との連携・協力体制の充実・強化を目指す。 | 相談支援課 | | |
| | | | 方向性 | | |
| | 内容 | 虐待や不適切なケア等を発見しやすい立場にある介護支援専門員や介護サービス事業者、医療機関等の専門職向けとして、虐待の兆候の早期発見の視点や予防策などに関する研修を実施する。 | R2 | 拡充 | |
| | | | R3 | 継続 | |
| | | | R4 | 継続 | |
| R5 | | | 継続 | | |
| | | R6 | 継続 | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------|
| 1 | 施策 | 1-2 | 高齢者への支援を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |     | |
| 3 | 施策の方向性 | 元気で活動的な高齢者も社会の支え手の一員となることができるよう体制を整備し、高齢者の社会参加の機会が充実するなど、地域の活性化を図ります。 高齢者が医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域や住まいで、自立した生活ができる環境を整備します。 | |
| 4 | 取組 | 1-2-1 | 地域活動・社会参加の促進 |
| | | 1-2-2 | 地域包括ケアシステム等の推進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |




2 新規・拡充事業等

| | | | | | | | | |
|----|-----|---|------------------------------|---|---------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 1-2-1 | 高齢者活動支援センター及び多世代交流センター事業の見直し | 担当課 | 地域福祉課 | | | |
| | 目的 | 高齢者活動支援センター及び多世代交流センターの連携に基づき新たな「高齢者の居場所と出番」を創出し、いきがい支援、介護予防の推進を図る。 | | | 方向性 | | | |
| | 内容 | 高齢者活動支援センターにおける「シニアマイスター登録派遣事業」と多世代交流センターにおける「世代間交流事業」の連携を促進し、更なるいきがい支援・世代間交流を図る。 | | | R2 | 拡充 | | |
| | R3 | | | | R3 | 継続 | | |
| | | 2 | 事業名 | 1-2-1 | 地域リーダー養成事業の新設 | 担当課 | 地域福祉課 | |
| | | | 目的 | 既存の地域活動団体の持続的な運営に向け、地域活動リーダーの育成を図る。 | | | 方向性 | |
| | | | 内容 | 老人クラブ会長・役員等を担う新たな人材を養成する。 民生委員・児童委員を始めとする地域福祉の新たな担い手を養成する。 | | | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 継続 | | | | |
| R4 | 継続 | | | | | | | |
| 3 | R5 | | | | R5 | 継続 | | |
| | | 3 | 事業名 | 1-2-1 | 街かどデイハウス事業 | 担当課 | 長寿介護課 | |
| | | | 目的 | 概ね65歳以上の要介護認定を受けていない高齢者を対象に、住民主体による居場所・集いの場の提供や介護予防の支援等を行い、高齢者が地域で生活できる拠点づくりを図る。 | | | 方向性 | |
| | | | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度まで新規実施者の募集を行い拡充を図る。 ・次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の期間中（R3～5）に、コミュニティデイハウス事業への完全移行をめざす。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 | | | | |
| R4 | 継続 | | | | | | | |
| 4 | R5 | | | | R5 | 完了 | | |
| | | 4 | 事業名 | 1-2-1 | コミュニティデイハウス事業 | 担当課 | 長寿介護課 | |
| | | | 目的 | 介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体の「通所型サービスB」として、地域における元気な高齢者・事業対象者・要支援高齢者等の居場所・介護予防の拠点を運営し、要支援者まで含めた高齢者が地域で生活できる拠点づくりを図る。 | | | 方向性 | |
| | | | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存の街かどデイハウスからの移行を図る。 ・現在は、街かどデイハウスでの運営実績がある団体を移行しているが、新規開設時からコミュニティデイハウスを運営できるよう検討する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 拡充 | | | | |
| R4 | 拡充 | | | | | | | |
| | R6 | | | | R5 | 拡充 | | |
| | | R6 | 拡充 | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|--|-------|----|
| 5 | 事業名 | 1-2-1 一般介護予防事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 65歳以上の方及びその支援のための活動をする方を対象に、多様な主体により実施される、高齢者の日常生活動作の向上、社会参加の促進、居場所づくり等を行い、介護の前段階から予防を行うとともに高齢者の居場所と出番づくりを行い高齢者の健康や暮らしの向上を目指すもの。 | 長寿介護課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 住民主体の介護予防を普及・啓発するため、介護予防活動等に取り組んでいる住民団体の市内マップ作成を図っていく。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 拡充 |
| | | | R4 | 拡充 |
| R5 | | | 拡充 | |
| | | | R6 | 拡充 |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------|
| 1 | 施策 | 1-3 | 障害者への支援を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |     | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例にのっとり、障害福祉サービスの充実や雇用・社会参加を進めるとともに、障害を正しく理解し、合理的配慮が適切に提供され、誰もが地域社会で自立して安心して生活できる共生社会の構築を進めます。</p> | |
| 4 | 取組 | 1-3-1 | 障害福祉サービスの充実 |
| | | 1-3-2 | 障害者の雇用・就労対策の促進 |
| | | 1-3-3 | 障害者の社会活動への参加促進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|---|-----|--|--------------------------|--|
| 1 | 事業名 | 1-3-1 | 基幹相談支援センター運営事業 | 担当課 |
| | 目的 | <p>障害者の在宅生活を支えるために、令和2年度末を目途に、障害者の地域生活支援拠点の基盤整備として、面的整備を進める。 ※拠点の5つの機能（①相談②緊急時の受け入れ・対応③体験機会・場④専門的人材の確保・養成⑤地域の体制づくり）</p> | | 相談支援課 |
| | 内容 | <p>市内5か所の（仮称）地区保健福祉センターを「地域生活支援拠点（①と⑤の機能）」として位置づけ、市直営の基幹相談支援センターとともに地域の体制づくりを推進するため、会計年度任用職員を増員し、基幹相談支援センターの強化を図る。</p> | | 方向性 R2 新規 R3 拡充 R4 拡充 R5 拡充 R6 継続 |
| 2 | 事業名 | 1-3-1 | 基幹相談支援センターの機能強化 | 担当課 |
| | 目的 | <p>計画相談専門員に対する指導・育成及び障害福祉サービスの適正化</p> | | 障害福祉課 |
| | 内容 | <p>障害福祉サービスの支給決定調査機能の追加を行う。 支給決定に関する調査を行う職員を会計年度任用職員として採用し、支給決定に関する相談業務や調査記録票の作成、支給決定後の利用者、同居人、サービス提供事業所への状況確認に関する業務等を行う。</p> | | 方向性 R2 新規 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 3 | 事業名 | 1-3-1 | 重度重複障害者等支援事業補助金の補助対象の見直し | 担当課 |
| | 目的 | <p>国の報酬改定により加算が新設されたことにより、効果が重複する部分について市の補助対象を見直す。</p> | | 障害福祉課 |
| | 内容 | <p>生活介護、短期入所又は共同生活援助を行う事業者に対し、要綱で規定しているサービスの提供を行った場合に補助金を交付していたが、重度障害者支援加算の新設に伴い、生活介護における補助対象のうち行動援護者（区分3～6かつ行動援護点数が10点以上）を除くこととする。また、今後事業のあり方について廃止を含め検討する。</p> | | 方向性 R2 縮小 R3 継続 R4 廃止 R5 R6 |
| 4 | 事業名 | 1-3-1 | 地域活動支援センターⅢ型事業の見直し | 担当課 |
| | 目的 | <p>実績が廃止基準に抵触している事業所が見受けられることや、同種事業（子ども・若者支援）により目的が達成できると考えられるため、委託料の減額やあり方等を見直す。</p> | | 障害福祉課 |
| | 内容 | <p>実績が廃止基準に抵触している事業所については委託料の減額・廃止を行うとともに、事業のあり方等について次期総合保健福祉計画で見直しを検討する。 ※令和元年度にはスリーケア及びさきはうが事業廃止になるため、5か所から3か所に縮小</p> | | 方向性 R2 縮小 R3 縮小 R4 縮小 R5 縮小 R6 縮小 |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|------------|--|------------|----|--|
| 5 | 事業名 | 1-3-2 障害者施設自主製品販路等拡大事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 障害者施設の活動による自主製品の販路拡大及び製品力の向上を目指す。 | 障害福祉課 | | |
| | | | 方向性 | | |
| | 内容 | 大型商業施設等での販売機会を設けるよう働きかけるほか、専門的知見を持ったコーディネーター等を活用し、新商品開発や生産性の向上にも努める。 また、意欲のある障害者事業所に対して重点的な後押しができるよう検討する。 | R2 | 拡充 | |
| | | | R3 | 継続 | |
| | | | R4 | 継続 | |
| R5 | | | 継続 | | |
| | | R6 | 継続 | | |




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|--|----------------|
| 1 | 施策 | 1-4 | 生活困窮者への支援を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 生活に困窮する市民に対し、様々なサービスを適切に提供するとともに、困窮状態から自立が図られ、誰もが安心して生活ができるまちづくりを進めます。 | |
| 4 | 取組 | 1-4-1 | 生活保護制度の適正実施 |
| | | 1-4-2 | 生活困窮者への自立の支援 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|--|-------------------------|-----|-------|-------|
| 1 | 事業名 | 1-4-1 | 生活保護世帯の子どもとその養育者の食育支援事業 | 担当課 | 生活福祉課 | |
| | 目的 | 生活保護受給世帯等の子どもに適切な食習慣・生活習慣を身につけてもらうことと、養育者への健康に関する相談と支援を行うことで将来の生活習慣病の発症を予防するとともに、自立を助長し、貧困の連鎖を防ぐ。 | | | 方向性 | R2 拡充 |
| | 内容 | 生活保護受給世帯等の子どもたちの生活習慣や家庭の状況を把握するため家庭訪問を行い、調理実習を通して食生活をはじめとした健康に関する相談と支援を行う。また事業実施後にアンケートを行い、家庭訪問や調理実習が参加世帯の行動変容につながったか検証する。 | | | R3 継続 | R4 継続 |
| 2 | 事業名 | 1-4-1 | 生活保護受給者の生活習慣病の重症化予防事業 | 担当課 | 生活福祉課 | |
| | 目的 | 生活習慣病の自己管理が難しく自立が困難な者に対して、生活習慣病の重症化を予防するために、初回・継続・評価と連続した訪問や面談、指導等を行うことで適切な生活習慣を身につけ自立を助長する。またそれにより、将来的な医療扶助の増加を防ぐ。 | | | 方向性 | R2 継続 |
| | 内容 | 保健師や管理栄養士が家庭訪問や電話等で対象者とともに健康課題を確認し、生活習慣改善に向けての目標を設定する。年間を通して訪問・面談等を行い、達成に向けての指導や支援を行う。 | | | R3 継続 | R4 継続 |
| | | | | | R5 継続 | R6 継続 |
| | | | | | | |



1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-----------------|
| 1 | 施策 | 1-5 | 健康づくりや地域医療を充実する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>地域住民の健康保持・増進及び疾病予防を図る地域医療の充実に向け、地区担当制による保健活動の推進などを積極的に展開し、市として取り組むべき医療・保健・食育施策を推進します。地域で安心して暮らせるまちをめざし、地域医療体制の充実を図るとともに、すべての市民が主体的に地域との連携協力により健康づくりに取り組みます。</p> | |
| 4 | 取組 | 1-5-1 | 健康づくりの推進 |
| | | 1-5-2 | 感染症予防対策の推進 |
| | | 1-5-3 | 地域医療体制の確保 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|-----|---|---------------------|-------|------|
| 1 | 事業名 | 1-5-1 | 胃部X線撮影装置等の更新 | 担当課 | |
| | 目的 | 健康増進法に基づき、今後も継続して胃がん検診を実施するため、必要な機器の更新を行う。 | | 保健医療課 | |
| | 内容 | 胃がん検診を実施するために必要な機器が老朽化したため、胃部X線撮影装置及び撮影データを保存するサーバ等周辺機器を更新する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規完了 |
| | | | | R3 | |
| | | | | R4 | |
| R5 | | | | | |
| R6 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 1-5-1 | いばらき健康マイレージ事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 健康活動に対してポイント（インセンティブ）を付与し、健康寿命の延伸や生活の質の向上を図る。 | | 保健医療課 | |
| | 内容 | <対象者>18歳以上の茨木市民 <市民ポイント> ①歩数ポイント 年齢・性別に応じた歩数達成条件超 10ポイント/1日 ②友達ポイント 茨木市民を紹介し登録完了（上限2人まで）300ポイント/1人につき ③健診ポイント 国保加入者で過去3年間特定健診未受診者 3,000ポイント | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | |
| R6 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 1-5-2 | ロタウイルスワクチンの定期接種化 | 担当課 | |
| | 目的 | 新たに定期接種化されるロタウイルスワクチンの予防接種を実施する。 | | 保健医療課 | |
| | 内容 | 令和2年10月1日から、令和2年8月1日以降に生まれた者で、出生6週0日後から出生24週0日後又は32週0日後までの者を対象にロタウイルスワクチンの予防接種を実施する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 4 | 事業名 | 1-5-3 | 病院誘致に係るコンサルティング業務委託 | 担当課 | |
| | 目的 | 病院誘致に向けた基本整備構想策定のための資料等を作成する。 | | 保健医療課 | |
| | 内容 | 求める市内の医療環境の方向性、誘致病院の役割・医療機能、整備手法、誘致に伴うリスク要因等の医療経営視点を含む専門的な必要事項を取りまとめ、病院誘致の検討に資する資料の作成等を行う。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 完了 |
| | | | | R4 | |
| R5 | | | | | |
| R6 | | | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|------------------|
| 1 | 施策 | 1-6 | 社会保険制度を安定的に運営する |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | 社会保険制度の趣旨を踏まえ、すべての世代が相互に支えあい、健やかに暮らすことのできる仕組みを維持するため、財政運営の健全化と安定化を図り、市民の安心を確保します。 | |
| 4 | 取組 | 1-6-1 | 介護保険制度の安定的な運営 |
| | | 1-6-2 | 国民健康保険制度の安定的な運営 |
| | | 1-6-3 | 後期高齢者医療制度の安定的な運営 |
| | | 1-6-4 | 国民年金制度の普及・啓発 |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|-------------------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 1-6-1 | 訪問型サービス事業（総合事業事務事業） | 担当課 | 長寿介護課 | |
| | 目的 | 専門職の中重度者に対する身体介護への重点化及び総合事業による生活支援サービスの多様化を推進する。（潜在ヘルパーの発掘） | | | 方向性 | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 訪問介護サービスA従事者を養成し、指定事業所を拡充する。 地域の支え合いなどインフォーマルな組織を活用した生活支援サービスを創出する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| | | | | | R5 | 拡充 |
| R6 | 拡充 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 1-6-1 | 通所型サービスC事業 | 担当課 | 長寿介護課 | |
| | 目的 | 機能向上を短期集中型で行い重度化防止を図る。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 現在、保健医療センター内で事業を委託して実施しているが、需要に対応できていないことから、理学療法士等を配置しているデイサービス事業所等に委託し市内に5か所（圏域に1か所）の設置を目指す。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| | | | | | R5 | 拡充 |
| R6 | 拡充 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 1-6-1 | 介護保険料（滞納繰越分）徴収事務 | 担当課 | 長寿介護課 | |
| | 目的 | 滞納繰越分の介護保険料収納率を向上させ、確実に納付している被保険者との公平性を確保し、適正な介護保険事務に努める。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 預金調査、差押事前通知、差押の件数を増やし、納付相談の機会や納付金額の増加につなげ、収納率の向上を目指す。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 4 | 事業名 | 1-6-2 | 国民健康保険等における納付コールセンターの拡充 | 担当課 | 保険年金課 | |
| | 目的 | 国民健康保険・後期高齢者医療制度の保険料に係る問合わせ対応の充実及び収納率の向上を図る。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 納付コールセンターの業務委託について、保険料賦課時の電話受付や被保険者の所得照会等の事務補助を拡充する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |

【 まちの将来像2 】

次代の社会を担う子どもたちを育むまち

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|--|------------------|
| 1 | 施策 | 2-1 | すべての子どもの育ちを支援する |
| 2 | 対応するSDGs |      | |
| 3 | 施策の方向性 | 次世代育成支援行動計画に基づき、すべての子ども・家庭の状況に応じた切れ目のない支援を行うことにより、子どもの健やかな育ちを保障するとともに、安心して子育てできる環境を整えます。 | |
| 4 | 取組 | 2-1-1 | いばらき版ネウボラの推進 |
| | | 2-1-2 | 子どもの健やかな育ちを等しく支援 |
| | | 2-1-3 | 幼児教育と保育の質と量の充実 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|-----------------------|-----|----------|----|
| 1 | 事業名 | 2-1-1 | 不育症治療費助成事業の助成上限額の見直し | 担当課 | | |
| | 目的 | 不育症治療による経済的負担を軽減するため実施する本事業について、助成上限額と実際の申請に対する助成決定額とに乖離が生じていることから、実態に合った見直しを行う。 | | | 保健医療課 | |
| | 内容 | 過年度の助成実績を踏まえ、1回当たりの助成上限額30万円を20万円に見直す。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 2-1-2 | 子ども家庭総合支援拠点の設置・運営について | 担当課 | | |
| | 目的 | 在宅支援の強化を図り、身近な場所で、子どもやその保護者に寄り添った継続的な支援を実施し、児童虐待の発生や重篤化を防止する。また、国は児童虐待防止対策体制総合強化プラン（新プラン）において、令和4年度までの設置目標を掲げている。 | | | 子育て支援課 | |
| | 内容 | 子どもと家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務までを実施する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 2-1-2 | 家庭児童相談システムの構築 | 担当課 | | |
| | 目的 | 関係機関との連携を強化し、人為的ミスの防止及び効率的な業務遂行のため、家庭児童相談システムを構築する。 | | | 子育て支援課 | |
| | 内容 | 現在は、児童に関する関係機関からの報告を電話で受け、システムに記録しているが、家庭児童相談システムを構築し、関係機関間をシステムで繋ぐことで、事務の効率化及び、迅速な情報共有を可能とする。また、入力ミスや連絡漏れ等の人為的ミスが起こらない環境を整備する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 4 | 事業名 | 2-1-3 | 保育所等待機児童の解消 | 担当課 | | |
| | 目的 | 保育需要に対応する受入体制を確保し、待機児童「0」を維持する。 | | | 保育幼稚園総務課 | |
| | 内容 | 私立保育所の建替や認定こども園の新設、私立幼稚園の認定こども園化などにより受入体制を確保する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 完了 | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|--|----------|----|
| 5 | 事業名 | 2-1-3 保育所・幼稚園営繕事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 公立保育所・公立幼稚園の施設改修や修理により、保育環境の向上を図る。 | 保育幼稚園総務課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 公立保育所の施設改修や公立幼稚園の大規模改修を行う。 | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 6 | 事業名 | 2-1-3 幼児教育無償化に伴う副食費の減免 | 担当課 | |
| | 目的 | 令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に伴い、3歳から5歳の免除対象者（低所得世帯及び第3子以降）の副食費を減免する。 | 保育幼稚園事業課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 新制度移行園（認定こども園、保育所、幼稚園）については、公定価格の加算として給付する。また、新制度未移行園（幼稚園）については、補足給付事業として、補助金を交付する。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 7 | 事業名 | 2-1-3 幼児教育無償化に伴う副食費の補助 | 担当課 | |
| | 目的 | 令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に伴い、私立保育所等に通っている3歳から5歳の児童に対する、食育の充実や特別食（アレルギー食等）への対応として補助金を交付する。 | 保育幼稚園事業課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 食の充実を図るため、補助を行う。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 8 | 事業名 | 2-1-3 私立小規模保育事業への保育士宿舍借上げ費用の補助 | 担当課 | |
| | 目的 | 保育士人材を確保するとともに、終業継続を支援し働きやすい環境を整備する。 | 保育幼稚園事業課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 保育士の宿舍借上げ費用の一部を補助する。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |


1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-----------------|
| 1 | 施策 | 2-2 | 地域ぐるみの子育てを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 地域の様々な人材が連携・協力し、子育てを支援することで、親子ばかりではなく世代を超えた人たちの交流の場が充実するなど、「子育てでつながる地域社会」の実現をめざします。 | |
| 4 | 取組 | 2-2-1 | 交流の場の充実 |
| | | 2-2-2 | 子育て支援の輪づくり |
| | | 2-2-3 | 地域の人材を活用した子育て支援 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|---|---------------|-----|--------|----|
| 1 | 事業名 | 2-2-2 | 子育て支援ネットワーク事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 子育てに関わる機関・団体・民生委員・児童委員等が、各団体等の特色をお互いに認め合いながら、連携して子育て支援を行うとともに、地域での子育て力の向上を図る。 | | | 子育て支援課 | |
| | 内容 | いばらきkoko（子育て・子育て）フェスティバルは、所期の目的を達成できたため終了する。今後は子育て支援団体連絡会が主体となり、より身近な場所でイベントが開催されるよう支援に努める。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | R5 | 継続 | | | | |
| | R6 | 継続 | | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|------------------|
| 1 | 施策 | 2-3 | 「生きる力」を育む教育を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | すべての児童・生徒の「生きる力」、すなわち「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」と、その基盤となる「非認知能力」の育成を進め、これからの社会を生き抜く資質・能力を育むことをめざします。また、個人の可能性を最大限引き出すため、学校園をはじめ保育所、関係諸団体が連携して就学前から中学校卒業まで一貫した「きめ細やかで質の高い教育」を保障し、「学びを通じた信頼される学校づくり」を進めます。 | |
| 4 | 取組 | 2-3-1 | 「確かな学力」の充実 |
| | | 2-3-2 | 「豊かな心」の醸成 |
| | | 2-3-3 | 「健やかな体」の育成 |
| | | 2-3-4 | 学校支援体制の充実 |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|-----|---|---------------|---------|----|
| 1 | 事業名 | 2-3-1 | 茨木っ子キャリアパスポート | 担当課 | |
| | 目的 | 非認知能力の育成を目的に、4歳児・5歳児から中学3年生までの児童生徒にカードとバインダーからなるパスポートを配布し、本人の振り返り（メタ認知）と教員や地域の方などのコメント（価値づけ）を積み重ねる。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 児童生徒が記入するカードおよび保管用のバインダーを配布する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 2 | 事業名 | 2-3-1 | いま未来手帳 | 担当課 | |
| | 目的 | 非認知能力の育成を目的に、中学生を対象に手帳を配布し、目標やスケジュール管理、振り返りを記入することにより、メタ認知能力の育成につなげる。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 生徒が記入する「いま未来手帳」を配布する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 3 | 事業名 | 2-3-1 | 茨木っ子キャリアカルテ | 担当課 | |
| | 目的 | 新プランにおける重点テーマである非認知能力の育成を目的に、「茨木っ子キャリアパスポート」と連動して評価基準（ルーブリック）に沿って教員が非認知能力の評価を行う。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 教員が記入、評価を行うキャリアカルテを配布する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 4 | 事業名 | 2-3-1 | 非認知能力アンケート | 担当課 | |
| | 目的 | 非認知能力の育成を目的に、これまでのプランで取り組んできた「子どもに育みたい5つの力」を非認知能力の観点で整理し、アンケートにより、非認知能力の伸びを測定する。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 小学校4年生から中学校3年生を対象としたアンケートを実施する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |



2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|-----|--|----------------------|---------|----|
| 5 | 事業名 | 2-3-1 | リーディングスキルテストモデル校事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 読解力測定テストである「リーディングスキルテスト」を小学校高学年を対象に実施し、結果分析をもとに取組を進め、読解力の向上を図る。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | モデル校（小学校3校）でリーディングスキルテストを実施する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 6 | 事業名 | 2-3-1 | スクールサポーター配置事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 小・中学校にスクールサポーターを配置し、子どもたちの特性や課題に応じたきめ細やかな支援や学校図書館の環境整備等、各学校の実態に合わせて活用できるようにする。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 各種サポーター等（学習サポーター、図書館支援員、生徒サポーター）の活動時間の長短による不具合解消や連携して効率的に業務を行うため、スクールサポーターとして統合し、学校がより主体的、効果的に活用できるようにする。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 7 | 事業名 | 2-3-1 | 学校図書館教育事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 小・中学校の読書センター・学習情報センター機能を充実し図書館教育を推進するとともに、市立図書館との連携の充実を図ることで、児童・生徒の読書活動の推進を図る。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 学校図書館の読書センター・学習情報センター機能の充実、市立図書館等との連携を図るため、図書管理ソフトや物流システムの活用を促進する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 8 | 事業名 | 2-3-2 | 生徒指導事業（いじめ・不登校問題行動等） | 担当課 | |
| | 目的 | 学校が、いじめ・不登校や暴力行為等の問題行動に対して、迅速かつきめ細やかに対応できるよう学校体制を支援する。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 学校体制を支援するため、スクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)、SSWアドバイザーを配置する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 9 | 事業名 | 2-3-3 | 中学校給食事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 中学校給食については、さらなる食育の推進を行うにあたり、全員給食の早期実現に向け検討する。 | | 学務課 | |
| | 内容 | 昨年度開催した中学校給食審議会で、望ましい中学校給食のあり方と実施方式はセンター方式との答申を受け、令和2年度は、中学校給食基本計画策定及び民間活力等導入可能性調査を行う。令和3年度以降は、事業者の募集、設計、建設をめざす。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |
| 10 | 事業名 | 2-3-3 | 体力向上事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 児童生徒に生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。 | | 学校教育推進課 | |
| | 内容 | 児童生徒の運動に対する意欲向上、体力向上のため、立命館大学と連携した短時間運動プログラム・授業プログラム、茨木っ子運動等を活用した取組を行う。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | | |
| R6 | 継続 | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|-----|---|---------------|-----|---|
| 11 | 事業名 | 2-3-4 | 小中学校業務改善推進事業 | 担当課 | 学校教育推進課 |
| | 目的 | 教員の働き方改革を進めるとともに、教員が子どもと向き合う時間を確保し教育活動をより充実させるために、小・中学校の業務改善を推進する。 | | | 方向性 |
| | 内容 | 教員の事務負担を軽減するため、プリント印刷、授業準備、事務作業、環境整備などの業務を行う業務サポーターを配置する。 | | | R2 縮小 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 12 | 事業名 | 2-3-4 | システム統合事業 | 担当課 | 教職員課 |
| | 目的 | 市立小・中学校で使用している、現行の校務システムと出退勤管理システムを統合し、作業効率及びセキュリティの向上を図る。又、校務支援システムとの統合も視野に入れ検討する。 | | | 方向性 |
| | 内容 | システムの更新及び統合を行う。 | | | R2 継続 R3 拡充 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 13 | 事業名 | 2-3-4 | 教員希望者支援事業 | 担当課 | 教職員課 |
| | 目的 | 市立小・中学校の講師、スクールサポーター等を対象に、教員採用試験対策研修等を実施し、茨木市での任用に付加価値をつける。又、PR活動として免許状取得可能な大学への訪問を行い、講師の獲得を進める。 | | | 方向性 |
| | 内容 | ①教員採用向け研修を実施する。 ②大学訪問等を行う。 | | | R2 新規 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 14 | 事業名 | 2-3-4 | 教職員資質向上支援事業 | 担当課 | 教育センター |
| | 目的 | 児童生徒の自尊感情や自己有用感を高め、安心して学ぶことができる学習集団づくりや新学習指導要領に対応した授業づくりを研究実践することを通じて、学校運営の中核となるミドルリーダーの資質向上を図る。 | | | 方向性 |
| | 内容 | 主体的・対話的で深い学びのある授業づくりや自尊感情・自己有用感を高める学習集団づくりについて、専門の講師を招き研修を行う。 その他、ミドルリーダーに必要な資質の向上を図るための研修を行う。 | | | R2 新規 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 15 | 事業名 | 2-3-4 | プログラミング教材整備事業 | 担当課 | 教育センター |
| | 目的 | 児童のプログラミング学習に対する学習意欲を高めるプログラミング教材を整備し、計画的に貸し出すことにより、小学校におけるプログラミング教育を推進する。 | | | 方向性 |
| | 内容 | 教科書に例示されているプログラミング教材を購入し、教職員が授業で活用できるよう教職員研修を実施する。 また、授業計画に合わせて貸し出し、授業での実践を市内に還元する。 | | | R2 新規 R3 完了 R4 R5 R6 |




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|------------------|
| 1 | 施策 | 2-4 | 魅力ある教育環境づくりを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | それぞれの学校において、子どもたちが良好で快適な環境のもとで教育を受けることができる環境を整備します。 また、地域における教育コミュニティづくりが進むとともに、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる環境を整えます。 | |
| 4 | 取組 | 2-4-1 | 学校施設の計画的な整備・充実 |
| | | 2-4-2 | 学校・家庭・地域の連携の推進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|------------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 2-4-1 | 小学校営繕事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 小学校施設の整備により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。 | | | 施設課 | |
| | 内容 | 小学校施設におけるエレベーターの設置、トイレの改修、ブロック塀等の撤去とフェンス設置などの整備・改修を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 2-4-1 | 中学校営繕事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 中学校施設の整備により、安全で快適に学べる教育環境の向上を図る。 | | | 施設課 | |
| | 内容 | 中学校施設におけるエレベーターの設置、トイレの改修、ブロック塀等の撤去とフェンス設置などの整備・改修を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 2-4-2 | 学童保育の夏季休業期間預かり事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 夏季休業期間のみの預かり事業により、年間通じての学童保育室入室者数の増加を抑制するとともに、学童保育室の入室要件を満たさない利用者のニーズにも応える。 | | | 学童保育課 | |
| | 内容 | 令和2年度に11小学校においてモデル実施を行い、令和3年度に30小学校においてモデル実施を経て本格実施をめざす。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 4 | 事業名 | 2-4-2 | 学童保育室対象学年の拡大 | 担当課 | | |
| | 目的 | 児童福祉法において規定される小学校6年生までを対象に放課後児童健全育成事業を実施を検討し、利用者のニーズに応える。 | | | 学童保育課 | |
| | 内容 | 令和2年度に事業実施方法について検討し、令和3年度以降に部分的な4年生の受入れのモデル実施をめざす。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 2-5 | 青少年の心豊かなたくましい成長を支援する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | 全ての青少年が様々な地域活動や体験活動に参加するとともに、適切な支援を受けることにより、心豊かにたくましく成長することができるよう取組を進めます。 | |
| 4 | 取組 | 2-5-1 | 青少年健全育成の推進 |
| | | 2-5-2 | 青少年の体験活動の充実 |
| | | 2-5-3 | 若者の自立支援 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|------------------------|-----|---------|----|
| 1 | 事業名 | 2-5-2 | 青少年野外活動センター日帰り「プチ体験」事業 | 担当課 | 社会教育振興課 | |
| | 目的 | 新型コロナウイルス感染症の影響による生活環境の変化に伴い、青少年の体験活動の機会が減少していることから、豊かな自然環境の中で感染リスクを避け、安心して気軽に参加できる体験活動の場を提供する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 感染防止対策を図りながら、日帰り・短時間・少人数で行う火おこしや自然工作などの体験活動プログラムを実施する。 | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| | | | | | R5 | |
| R6 | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 2-5-3 | 子ども・若者自立サポート事業 | 担当課 | こども政策課 | |
| | 目的 | 不登校やひきこもりなど様々な生きづらさを抱える子ども・若者とその保護者への個別支援体制を確保するとともに、他機関との連携支援体制を強化するため、子ども・若者自立支援センターの体制を拡充する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 子ども・若者自立支援センター「くろす」の支援員を1名増員する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |

【 まちの将来像3 】

みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 3-1 | 生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>本市の生涯学習に関する取組の基本となる計画を策定するとともに、市民、行政、教育機関、企業等との連携により、社会的な課題や市民ニーズに対応した多様な学習の場や機会、情報などを提供し、市民の主体的な生涯学習活動を促します。</p> <p>社会教育については、学校教育との連携を図りながら、これからの時代に求められる成人の学習や、公民館活動の推進、図書館の機能の充実を図ります。</p> | |
| 4 | 取組 | 3-1-1 | 生涯学習推進体制の整備 |
| | | 3-1-2 | 生涯学習についての普及啓発の推進 |
| | | 3-1-3 | 成人の学習の推進 |
| | | 3-1-4 | 公民館活動の推進 |
| | | 3-1-5 | 図書館サービスの充実 |
| | | | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | | | | |
|----|-----|--|-------------------|-----|---------|-----|------|
| 1 | 事業名 | 3-1-3 | 成人祭事業 | 担当課 | 社会教育振興課 | | |
| | 目的 | 令和4年施行の民法改正（成人年齢引き下げ）に伴う、成人祭のあり方を検討する。 | | | | | |
| | 内容 | 令和元年度中に、内部による検討、国・他市の動向等情報収集、調整会議等を行い、令和2年5月に成人祭の在り方について、決定、周知を行う。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | | R3 | 完了 |
| | | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | | |
| R6 | | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 3-1-4 | 玉島公民館等エレベーター設置等事業 | 担当課 | 社会教育振興課 | | |
| | 目的 | 高齢者や身障者等全ての利用者にとって、より利用しやすい施設とするため、バリアフリー化を図る。 また、併せて施設の長寿命化を図る。 | | | | | |
| | 内容 | 玉島公民館にエレベーター棟を設置し、併せて外壁改修及び屋上防水工事を実施する。郡山公民館の外壁改修及び屋上防水工事を実施する。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 完了 |
| | | | | | | R3 | |
| | | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | | |
| R6 | | | | | | | |
| 3 | 事業名 | 3-1-4 | 小学校区公民館維持補修事業 | 担当課 | 社会教育振興課 | | |
| | 目的 | 公民館利用者が安全で快適な施設利用ができるよう、また、施設の長寿命化を図るため、維持補修を実施する。 | | | | | |
| | 内容 | 公民館施設及び設備の維持、補修、更新を実施する。（空調更新、屋上防水修繕など） | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 4 | 事業名 | 3-1-4 | 見山公民館施設改修事業 | 担当課 | 社会教育振興課 | | |
| | 目的 | 平成30年6月の大阪北部地震により、安全・安心のまちづくりへの意識が高まる中、指定避難所となっている見山公民館の施設利用における合理的配慮、良好な環境の確保を図る。 | | | | | |
| | 内容 | 男女共用トイレを男女別とするとともに、新たに多目的トイレを整備する。また、下水道未整備地区であることから合わせて浄化槽を設置する。また、全ての利用者が利用しやすいようエレベーターを設置するとともに、建物長寿命化の観点から外壁改修・屋上防水工事を併せて実施する。令和2年度は設計、令和3年度に実施する。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | | R3 | 完了 |
| | | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | | |
| R6 | | | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|---|-------|----|
| 5 | 事業名 | 3-1-5 子ども読書推進事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 第3次茨木市子ども読書活動推進計画に沿った事業を行い、継続した子どもの読書活動推進に取り組む。 | 中央図書館 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 第3次茨木市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児期から途切れることなく子どもの発達段階に応じた読書活動を推進する。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 6 | 事業名 | 3-1-5 図書館システム更新事業 | 担当課 | |
| | 目的 | I C T技術を活用し、市民の利便性の向上を図るとともに、情報・資料へのアクセスを容易にする環境づくりを行う。図書館システムを更新し、図書館サービスの充実を図る。 | 中央図書館 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 図書館システムを更新し、ホームページの充実を図るとともに、水尾・穂積図書館に予約受取コーナーを設置する。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 7 | 事業名 | 3-1-5 電子書籍導入事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 新たな資料形態として、電子書籍を導入することにより、市民の利便性向上、読書推進を図る。 | 中央図書館 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 図書館を利用していない人、来館できない人への資料・情報提供の充実を図るため、電子書籍を導入し、貸出を行う。 | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|--|---------------------|
| 1 | 施策 | 3-2 | みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 本市のスポーツ推進計画に基づき、スポーツ関係団体等と連携し、健康増進・生きがいづくりのイベント、スポーツ教室等を開催するとともに、各自の興味や年齢、体力、技能等に応じて、誰もが気軽に生涯スポーツに親しむことができる環境を整えます。地域スポーツ等の活動・運営を支える人材の育成や互いに協力しあえるネットワークを構築します。 | |
| 4 | 取組 | 3-2-1 | 多様な生涯スポーツ活動の推進 |
| | | 3-2-2 | スポーツ関係団体や指導者の育成 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |



2 新規・拡充事業等

| | | | | | | | |
|----|-----|--|-----------------------------|-----|---------|-----|------|
| 1 | 事業名 | 3-2-1 | スポーツ推進計画中間見直し業務委託 | 担当課 | スポーツ推進課 | | |
| | 目的 | スポーツ推進計画の期間が平成28年度～令和7年度までの10年間としており、中間年度の令和2年度に進捗状況の確認、評価を行い、必要に応じて見直しを行う。 | | | | | |
| | 内容 | 計画の進捗状況の確認、評価を行い、新たに取り組んでいる施策を追加する。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | | R3 | 新規完了 |
| | | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | | |
| R6 | | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 3-2-1 | キッズスポーツデー実施業務委託 | 担当課 | スポーツ推進課 | | |
| | 目的 | 子ども達がスポーツをする機会の創出のため、様々なスポーツを体験できるイベントを実施する。 | | | | | |
| | 内容 | 業務委託することで、周知や受付方法、その他イベントの魅力向上により、子どもたちがスポーツをする機会を創出する。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 3 | 事業名 | 3-2-1 | 東雲運動広場多目的トイレ設置設計委託及びトイレ改修修繕 | 担当課 | スポーツ推進課 | | |
| | 目的 | 多目的トイレを設置することで、高齢者や障害者がスポーツに親しむ機会を増やす。スポーツ推進計画における目標の実現に向けて、更なる高齢者及び障害者スポーツの推進を図る。 | | | | | |
| | 内容 | 東雲運動広場利用者の多目的トイレの設置設計委託 東雲運動広場内の既存の和式トイレを洋式化する。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | | R3 | 新規完了 |
| | | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | | |
| R6 | | | | | | | |
| 4 | 事業名 | 3-2-1 | 茨木市立市民体育館の空調設備更新修繕及び照明設備改修 | 担当課 | スポーツ推進課 | | |
| | 目的 | 効率的な空調設備及び照明設備への計画的かつ効率的な更新を実施することにより、CO2排出量の削減を図る。 | | | | | |
| | 内容 | 耐用年数を超過している空調設備機器を高効率機器に更新する。 低照度化やセンサー制御等の技術を採用した照明設備のLED改修を行う。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 新規完了 |
| | | | | | | R3 | |
| | | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | | |
| R6 | | | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--------------------------------------|----------------|-----|---------|------|
| 5 | 事業名 | 3-2-1 | 中央公園北グラウンドの整備 | 担当課 | | |
| | 目的 | 中央公園南グラウンドの閉鎖にあたり、グラウンドの代替利用を確保する。 | | | スポーツ推進課 | |
| | 内容 | グラウンド利用を確保するため、中央公園北グラウンドの拡張改良工事を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 完了 |
| | | | | | R3 | |
| R4 | | | | | | |
| | | | | R5 | | |
| | | | | R6 | | |
| 6 | 事業名 | 3-2-1 | 福井市民体育館長寿命化の推進 | 担当課 | | |
| | 目的 | 施設の長寿命化を推進する。 | | | スポーツ推進課 | |
| | 内容 | 屋上防水・外壁改修工事を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規完了 |
| | | | | | R3 | |
| R4 | | | | | | |
| | | | | R5 | | |
| | | | | R6 | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------------------|
| 1 | 施策 | 3-3 | 文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | 文化振興ビジョンに基づき、市民の主体的な文化活動や交流を支援するとともに、子どもたちへの多様なアプローチを進めるなど、新しい担い手の発掘と育成を図ります。また、歴史遺産の保存と活用を推進し、拠点施設の機能充実を図り、市民の郷土愛を育むことで、歴史文化遺産を発展的に継承します。 | |
| 4 | 取組 | 3-3-1 | 多様な主体の協働による文化のまちづくり |
| | | 3-3-2 | 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり |
| | | 3-3-3 | 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成 |
| | | 3-3-4 | 歴史遺産の保存・継承 |
| | | 3-3-5 | 郷土への愛着心とブランド形成 |
| | | | |



2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|-------------------------|-----|-----|------|
| 1 | 事業名 | 3-3-2 | 市民総合センター設備更新事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 老朽化している設備の予防保全を行う。 | | | | |
| | 内容 | 舞台照明および空調等の更新を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | R3 | 臨時拡充 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 3-3-4 | 指定文化財保存修理補助事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 指定文化財の保存修理に係る補助制度を整備し活用することで、本市に残る貴重な文化財を後世に適切な状態で伝えていき、かつ市民の文化財愛護精神の涵養を図る。 | | | | |
| | 内容 | 大阪北部地震など近年の災害により指定文化財の破損が相次いだほか、今後も経年劣化等による保存修理が必要となってくる事案の増加が予想される。文化財所有者が活用しやすい補助制度を整備し、積極的な利用を促す。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 3-3-4 | 紫金山古墳等の国史跡指定に向けた取組 | 担当課 | | |
| | 目的 | 市内に所在する古墳の国史跡指定に向けた取組を通じて、その古墳がもつ価値を広く市民に知らせていくことで、市民の郷土愛の醸成を図る。 | | | | |
| | 内容 | 本市に所在する紫金山古墳等は古墳時代の重要古墳であり、日本列島における国家形成期を語るうえで欠かせない史跡である。また、これらの古墳の価値は京都大学考古学研究室の調査によって、明らかにされている。これらの古墳を国指定史跡にすることで、史跡の保護をより強固とするとともに、本市の誇る古墳の価値や魅力を発信する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 完了 | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 4 | 事業名 | 3-3-4 | 文化財保存活用地域計画の策定に向けた文化財調査 | 担当課 | | |
| | 目的 | 本市にのこる古文書、美術工芸、民俗など各種文化財の調査を実施することで、文化財保存活用地域計画の策定に取り組む。 | | | | |
| | 内容 | H27年度から始めた歴史的建造物調査は、所有者をはじめ地域住民の理解・協力を得ることができ、R2年度にはすべての報告書が刊行予定である。文化財保存活用地域計画の策定を見据え、この調査で得た所有者等との関係を活かし、建造物以外の様々な文化財の調査を実施することで、本市に所在する文化財の悉皆調査を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | |
|---|-----|---|--|
| 5 | 事業名 | 3-3-4 新技術を活用した普及啓発並びに記録保存 | 担当課 |
| | 目的 | ARやS f M等の新技術を活用することで、限られた展示スペースでも多層的な展示が実現できるなど普及啓発活動の幅が大きく広がる。また、その過程で作成されたデータは記録保存の可能性を大きく広げるものであり、自然災害で被災したような環境面で公開が困難な文化財の情報発信や復旧などに大いに資するものであり、最新技術を使った記録と公開のあり方を研究する。 | 歴史文化財課 方向性 R2 新規 |
| | 内容 | 各展示において、ARを積極的に用い、観覧者のより具体的な理解を促すとともに、公開困難な文化財についても情報発信に取り組む。また、古墳の石室などについて、S f Mを用いて三次元データを作成しておくことで、被災した場合の復旧や、公開困難な状況が発生した場合に備える。 | R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| | 事業名 | 3-3-4 歴史情報の整理公開事業 | 担当課 |
| | 目的 | 本課においては、文化財資料館はじめ旧市史編纂室等において膨大な歴史情報を有しているが、それらを整理し、その公開を行うことで、本市の歴史に親しむ、または調べる機会を市民に提供する。 | 歴史文化財課 方向性 R2 新規 |
| 6 | 内容 | 旧市史編纂室から引き継いだ現行データ管理システムの保守サービスが終了することに伴い、市史に関するデータを含めて、本課全体のデータベース構築を目指し、整理および公開それぞれの機能に適切なシステムの導入を検討する。 | R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| | 事業名 | 3-3-4 文化財資料館常設展リニューアル事業 | 担当課 |
| 7 | 目的 | 開館当初のままの展示がいまだ残る文化財資料館常設展をリニューアルし、発信機能を強化することで、広く市民に郷土の歴史や魅力を再発見してもらい、郷土愛の醸成を図る。 | 歴史文化財課 方向性 R2 新規 |
| | 内容 | 昭和59年の開館当初のままの老朽化した展示設備で、普及啓発活動が阻害されている。また、開館以来の発掘調査や様々な文化財の調査が蓄積されるとともに、近年の研究の進展により本市域の歴史に新たな知見が加わっている。これらの成果を十分に発信できるよう、土蔵も含めた文化財資料館の常設展をリニューアルする。 | R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| | 事業名 | 3-3-4 千提寺菱ヶ谷遺跡の整備と活用 | 担当課 |
| | 目的 | 本市の貴重なキリシタン関連遺跡である千提寺菱ヶ谷遺跡の市史跡指定を見据えながら、豊かな自然及び地域との共生を目指した整備と活用を図る。 | 歴史文化財課 方向性 R2 新規 |
| | 8 | 内容 | 令和元年度に刊行予定した発掘調査報告書を踏まえ、市指定に向けて同遺跡の価値付けを進めていく。整備にあたっては、遺構周辺は里山林に、遺構のある頂上部は広場に整備し、植樹や体験学習などのイベントを実施することで、自然と共生し、持続的に多くの市民が関わる遺跡とする。 |


1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|---------------------------|
| 1 | 施策 | 3-4 | 観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | 茨木市の自然、歴史、文化、地域で生み出される特産品など豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用し、市内外の人が訪れて「楽しい」と思ってもらえるよう、観光資源をつなぐ取組を推進します。さらに、観光協会と連携し、幅広い年代に応じた効果的な情報発信を行い、わがまちに誇りを持つて、観光をいかしたまちづくりを進めます。 | |
| 4 | 取組 | 3-4-1 | 観光資源の発掘とネットワーク化の推進 |
| | | 3-4-2 | 観光情報の発信を強化 |
| | | 3-4-3 | 官民協働で観光事業を推進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|--------------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 3-4-1 | 観光あるき事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 阪急沿線の自治体および鉄道事業者と共同で、地域の魅力を発信する。 | | | 商工労政課 | |
| | 内容 | ①実行委員会で導入するアプリに、市内のウォーキングコースを設定する。 ②「阪急観光あるき」のPR（PRイベント、各広報物等）を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 3-4-1 | (仮) 北部地域における観光推進事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 安威川ダム周辺整備によって生まれる、新たな観光スポットを活用し、北部地域への来訪者の増加や交流促進等、地域の活性化を図る。 | | | 商工労政課 | |
| | 内容 | 安威川ダム周辺整備の完了（令和5年度予定）に合わせて、北部地域の魅力資源のネットワーク化や周知方法等を検討する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 新規 |
| R5 | 継続 | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------------|
| 1 | 施策 | 3-5 | 都市間の交流と国際化を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>国内外の姉妹都市を中心とした市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深めるとともに、様々な分野での文化活動の交流を図ります。さらに、市民の異文化理解活動を支援し、国籍を超えた多彩な交流を進めます。</p> | |
| 4 | 取組 | 3-5-1 | 都市間交流の促進 |
| | | 3-5-2 | 地域国際化を推進するための環境整備 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |



2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|-----------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 3-5-2 | 茨木市国際親善都市協会補助事業 | 担当課 | 文化振興課 | |
| | 目的 | 国際親善都市協会の活動を支援することにより、在留外国人・留学生との交流促進、多文化共生社会の実現に寄与する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | 内容 | 茨木市国際親善都市協会が実施している「実用日本語学習会」、「通訳ボランティア制度」について、利用者の増加に伴い、同協会が負担している謝礼に対するの補助を拡充する。 | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| | | | | | R5 | 拡充 |
| R6 | | | | | 拡充 | |

【 まちの将来像4 】

市民・地域とともに備え、
命と暮らしを守る安全安心のまち

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|--------------|
| 1 | 施策 | 4-1 | 災害への備えを充実させる |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | 防災体制の確立と防災意識の高揚を図り、行政や市民等が災害や有事に際しての役割を認識し備えるとともに、耐震化の促進や雨水対策など災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。 | |
| 4 | 取組 | 4-1-1 | 防災体制の強化 |
| | | 4-1-2 | 防災意識の高揚 |
| | | 4-1-3 | 建築物の耐震化の促進 |
| | | 4-1-4 | 上下水道施設の耐震化 |
| | | 4-1-5 | 総合的な雨水対策の推進 |
| | | 4-1-6 | 安威川ダムによる治水対策 |
| | | | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|---|-----|---|-------------------------|-----|---------|
| 1 | 事業名 | 4-1-1 | 地域防災計画等修正事業 | 担当課 | 危機管理課 |
| | 目的 | 新たな災害対応等の課題を踏まえた国や府の上位計画の修正や市機構改革等の変更に伴って、地域防災計画や業務継続計画などの修正等を行う。 | | | |
| | 内容 | ①国や府の上位計画の修正に対応して地域防災計画の修正等を行う。 ②市の機構改革などに伴う変更内容について反映する。 ③地域防災計画との整合性を図った受援計画の策定に向けて取り組む。 | | | |
| 2 | 事業名 | 4-1-1 | 災害情報伝達における自動情報配信サービスの導入 | 担当課 | 危機管理課 |
| | 目的 | 現在、災害情報（避難情報等）は、屋外スピーカーや緊急速報メール、市HPや公式SNSなど様々な手段で発信しているが、これらでは情報を収集出来ない、いわゆる情報弱者の方に対して、いつでも情報を提供できる環境整備を図る。 | | | |
| | 内容 | インターネットを利用しない（できない）、いわゆる情報弱者（登録者）の固定電話やFAXに対して、災害情報（避難情報等）を自動で発信する。また、屋外スピーカーの放送内容が聞き取りにくい場合等に、指定の電話番号への架電により放送内容を確認できる自動応答サービスを導入する。 | | | |
| 3 | 事業名 | 4-1-1 | 災害用備蓄品の増強 | 担当課 | 危機管理課 |
| | 目的 | 避難所の生活環境の改善を図るとともに、災害時における携帯電話の利用ニーズに対応するため、災害用の備蓄品の増強を行う。 | | | |
| | 内容 | ①投光器 150台 ②携帯充電器 900台 | | | |
| 4 | 事業名 | 4-1-1 | 国土強靱化地域計画の策定 | 担当課 | 政策企画課 |
| | 目的 | 大規模災害等から市民の生命・身体・財産を保護するとともに、迅速な復旧復興ができる強靱なまちづくりを推進するため国土強靱化地域計画を策定する。 | | | |
| | 内容 | 茨木市総合計画や総合戦略との整合性を図りつつ、東日本大震災や大阪府北部を震源とする地震等から得られた教訓等を踏まえて策定する。 | | | |
| | | | | 方向性 | R2 新規完了 |
| | | | | | R3 |
| | | | | | R4 |
| | | | | | R5 |
| | | | | | R6 |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|---|--------|------|
| 5 | 事業名 | 4-1-2 洪水・内水ハザードマップの更新 | 担当課 | |
| | 目的 | 淀川(国)及び安威川(府)の想定最大規模の降雨による浸水想定区域の見直しに対応するため、ハザードマップの更新を行う。 | 危機管理課 | |
| | 内容 | 洪水・内水ハザードマップを想定最大規模の降雨による浸水想定区域等に対応したハザード情報に更新するとともに、啓発記事の充実を行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 6 | 事業名 | 4-1-3 通行障害建築物の耐震診断、耐震改修の推進 | 担当課 | |
| | 目的 | 耐震改修促進法施行令の改正により、耐震診断義務化対象路線沿いの通行障害建築物としてブロック塀等が追加されたことから、ブロック塀等を含めた当該建築物の耐震化を促進する。 | 居住政策課 | |
| | 内容 | 耐震診断、耐震改修補助制度の対象に耐震診断が義務化されたブロック塀等を追加する。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 7 | 事業名 | 4-1-4 下水道総合地震対策事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 既設下水道管路及びポンプ場の耐震化を図るため、「下水道総合地震対策計画」に基づき、下水道施設の耐震化工事を行う。 | 下水道施設課 | |
| | 内容 | 管路施設の耐震設計及び耐震化工事を継続して実施するとともに、令和2年度においては第3期茨木市下水道総合地震対策計画を策定する。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 8 | 事業名 | 4-1-4 水道施設更新・耐震化事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 今後想定される大規模災害等に備え、ライフラインとしての機能を果たすべく「施設更新計画」に基づき、管路・施設の更新・耐震化を効率的・効果的に行う。 | 水道部総務課 | |
| | 内容 | 基幹管路の老朽管の更新に合わせて、耐震化を推進するとともに、配水池から重要給水施設への管路の耐震化の優先度を上げて実施する。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 9 | 事業名 | 4-1-5 雨水整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | ゲリラ豪雨や大型台風等による大雨から浸水被害の軽減を図るため、「雨水基本構想」に基づき、雨水整備を実施する。 | 下水道施設課 | |
| | 内容 | 分流区域において雨水管の整備や既設水路の拡幅等を進めるとともに、市内中心部(中央排水区)においては貯留管及び増補管の整備に向けた取り組みを行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 10 | 事業名 | 4-1-6 ダム周辺道路整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の道路整備事業を推進する。 | 道路交通課 | |
| | 内容 | 車作1号線の整備を行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 完了 |
| R4 | | | | |
| R5 | | | | |
| R6 | | | | |


1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------|
| 1 | 施策 | 4-2 | 消防・救急体制を充実強化する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 多様な災害に即応する消防体制と高齢化社会に対応した救急体制の充実強化を図るとともに、防火意識の向上に努め火災予防を推進します。 | |
| 4 | 取組 | 4-2-1 | 消防体制の充実強化 |
| | | 4-2-2 | 救急業務の充実強化 |
| | | 4-2-3 | 火災予防の推進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|-------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 4-2-1 | 消防施設整備事業 | 担当課 | 消防総務課 | |
| | 目的 | 消防施設の適正な維持管理及び長寿命化を図るため、計画的に改修する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 令和2年度に北辰分署の改修、令和3年度に白川分署の設計委託しその翌年度に改修、令和6年度に山手台分署の設計委託を行う。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 縮小 |
| R6 | 拡充 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 4-2-1 | 消防団充実強化事業 | 担当課 | 消防総務課 | |
| | 目的 | 消防署との連携強化を図るとともに、消防団の装備品を整備し活動しやすい環境づくりを推進する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | ①消防署・消防団合同訓練及び各分団連携訓練 ②装備品等の整備 | | | R2 | 縮小 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 4-2-1 | 消防車両・機器整備事業 | 担当課 | 警備課 | |
| | 目的 | 複雑多様化する各種災害に適切に対応するため、消防車両・資機材の整備を行い、消防力の充実強化を図る。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | ①消防車両等の整備、更新 ②資機材等の整備、更新 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 4 | 事業名 | 4-2-2 | 感染防止対策事業 | 担当課 | 救急救助課 | |
| | 目的 | 救急隊の感染防止対策の体制整備を図る。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 職員のインフルエンザウイルス感染による消防力の低下を未然に防ぐため、インフルエンザワクチンを接種するとともに、救急隊員に対しては、風疹等の抗体検査及びワクチン接種を実施することにより、救急隊員の罹患や他者への感染拡大を防止する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 4-3 | 防犯や多様な危機への対策を強化する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 安全で安心な地域社会を実現するため、市民、事業者、警察及び行政が犯罪のないまちづくりに求められる役割を分担するとともに、連携して、防犯対策の推進と防犯に対する意識の向上を図ります。また、多様な危機に関する情報収集と情報提供を行いながら対策を進めます。 | |
| 4 | 取組 | 4-3-1 | 防犯環境の整備 |
| | | 4-3-2 | 防犯活動への支援及び市民の防犯意識の向上 |
| | | 4-3-3 | 多様な危機への体制整備 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|-----------------|-----|-------|------|
| 1 | 事業名 | 4-3-1 | 通学路見守り用カメラ設置等事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 通学路の安全対策として、全小学校区に防犯カメラを設置するとともに、街頭犯罪防止のため、市内の犯罪発生危険箇所等に市管理の防犯カメラを設置する。 | | | 危機管理課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | ①防犯カメラの適正配置及び管理運用について、犯罪発生の状況等を踏まえ、警察及び関係課と協議を行い、通学路見守り用カメラのリース契約更新時期にあわせて見直しを行う。 ②防犯カメラの更新にあたっては、セキュリティ対策と捜査機関への情報提供業務等の負担が軽減できる機能のついた機種へ更新する。 | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 臨時拡充 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------|
| 1 | 施策 | 4-4 | 消費者教育を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | 消費生活相談、消費者教育・啓発事業の充実を図りながら消費者意識を高め、自立した消費者を育成するとともに、相談業務の充実や適切な情報提供などにより、消費者の安全安心の確保に取り組みます。 | |
| 4 | 取組 | 4-4-1 | 消費者教育・啓発の推進 |
| | | 4-4-2 | 消費者相談の充実 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|------------------|-----|---------|------|
| 1 | 事業名 | 4-4-1 | 若者向け消費者教育・啓発推進事業 | 担当課 | 市民生活相談課 | |
| | 目的 | 成年年齢引下げを踏まえ、懸念される若年者の消費者被害の拡大防止を図る。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | これまでの啓発手法に加え、新たに交付金を活用し、若者が理解しやすい啓発映像を制作し授業での活用を図るほか、市内大学や高校と連携を図り、学園祭や文化祭などのイベントに参加し啓発を継続するなど、集中的な周知啓発を実施する。 | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 4-4-1 | 消費生活センター機能周知促進事業 | 担当課 | 市民生活相談課 | |
| | 目的 | 未だ減少しない、あるいは新手の消費者トラブルなどが多発する中、トラブルの回避や解決を図るため、消費生活センターの機能周知を行う。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | イベントや紙媒体による啓発に加え、交付金を活用し、消費生活センターの周知映像を作成の上、出前講座で活用するなど、各世代へ継続的に視覚、聴覚に訴える周知啓発を行う。 | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |

【 まちの将来像5 】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|--|-----------------------|
| 1 | 施策 | 5-1 | 地域産業を基盤強化し雇用を充実する |
| 2 | 対応するSDGs |        | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>本市の農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林整備を促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。</p> <p>また、商店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続し、成長を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。</p> <p>事業所の人材確保や、就職困難者・不安定な就労を余儀なくされている人の能力と希望に応じた就労を支援するとともに、働き方改革を推進し、働く人々が安心して、いきいきと働くことができる環境づくりと育成された人材が活躍できる活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。</p> | |
| 4 | 取組 | 5-1-1 | 都市と農村の交流活動等による農林業振興 |
| | | 5-1-2 | 商業の活性化 |
| | | 5-1-3 | 企業活動への支援 |
| | | 5-1-4 | 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成 |
| | | 5-1-5 | 雇用・就労の支援 |
| | | 5-1-6 | 働き方改革と勤労者福祉の推進 |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|---|---------------|-----|----------|----|
| 1 | 事業名 | 5-1-1 | 集落営農組織支援事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | |
| | 目的 | <p>営農組織設立を目指す集落に対する組織化支援や集落営農組織に対する農業用機械貸付などの支援による農機具経費の負担軽減を図ることにより、将来の担い手確保及び遊休農地の解消につなげる。</p> | | | 方向性 | |
| | 内容 | <p>大岩地区において、集落営農組織化に向けた検討会を実施し、設立後、集落営農組織へ農機具貸付支援を行なう。また集落営農組織の農地利用・集積の流動化を目的として新たな人・農地プランを作成する。</p> | | | R2 | 拡充 |
| 2 | 事業名 | 5-1-1 | 新規農業者養成事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | |
| | 目的 | <p>農業の担い手の高齢化や若者の農業離れ等により担い手が不足し、将来、農地の遊休化が進むと考えられ、今後、持続的な農業の推進には都市住民等に農業に興味を持ってもらう必要があることから、大阪府等と連携し、市民を対象とした農業体験を実施し、農家への援農や新規就農に結びつける。また、一定の営農技術を取得しているものに対し、国の給付金を活用して、農業経営をサポートする。</p> | | | 方向性 | |
| | 内容 | <p>農に興味のある市民を対象に農業体験の実施し、受講者の援農等の支援を行なう。また一定の営農技術を取得し、独立・自営就業するものに対し、国の農業次世代人材投資事業を活用して、農業経営をサポートする。</p> | | | R2 | 継続 |
| 3 | 事業名 | 5-1-1 | 学校給食地場産作物供給事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | |
| | 目的 | <p>直売所等を通じた学校給食への地場産作物の供給を推進することで、安定的な売り先の確保、地産地消の促進を図る。</p> | | | 方向性 | |
| | 内容 | <p>学校給食への地場産野菜等の供給、品目の増加を図る。</p> | | | R2 | 拡充 |
| 4 | 事業名 | 5-1-1 | 森林環境譲与税活用事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | |
| | 目的 | <p>国から譲与される森林環境譲与税を活用し、林業者団体と連携した森林の整備及びその促進に関する施策を実施し、森林の有する公益的機能の維持増進を図る。</p> | | | 方向性 | |
| | 内容 | <p>森林環境譲与税を活用し、民有林整備施業実施者への補助や公共建築物の木造化・木質化推進、関係団体との連携による森林整備・木工体験活動等の実施や支援を行うほか、これら各用途への積み立てを行う。</p> | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| | | | | | R6 | 拡充 |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|---|----------|----|
| 5 | 事業名 | 5-1-1 新しい農業施策構築に向けた調査等 | 担当課 | |
| | 目的 | 新しい農業施策を構築・展開するため、基礎調査をもとに、地域農業者とともにモデル事業を検討・実施する。 | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 基礎調査をもとに、新規就農者や準農家登録者によるグループ販売、新たな作物（ゴマ）の新規生産者の開拓及び共同販売を実施する。また地域農業者や認定農業者への準農家、就農希望者の受け入れ体制の検討を行なう。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 6 | 事業名 | 5-1-1 農村総合整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 水路や取水堰等の基盤整備を実施し、営農環境を改善することにより農作物の生産効率を高める。また、「見山の郷」に隣接している銭原川の護岸を親水護岸に整備し、地域の魅力向上を図る。 | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 地域の特性に応じた農業生産基盤と親水空間等を整備するため、国庫補助金等を活用し、長谷水路の改修や銭原川の親水護岸整備を行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 完了 |
| | | | R4 | |
| R5 | | | | |
| R6 | | | | |
| 7 | 事業名 | 5-1-1 ため池防災減災事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 近年頻発する集中豪雨や大規模地震などの自然災害に対応するため、ため池のハード・ソフト対策を推進する。 | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 農業灌漑用ため池としての機能を回復し、農業経営の安定化を図るため、矢上池の堤体や取水設備を更新する。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 完了 | | | |
| 8 | 事業名 | 5-1-1 ふれあい農園管理事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 市において開園している市民農園の管理運営について、農の魅力発信や運営の効率化を図るため、令和4年度より指定管理者制度による運営を目指す。 | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 4箇所の市民農園の運營業務（利用者募集、使用料徴収、施設管理）を実施する。また農への興味を引き出すための魅力発信ができる担い手企業と指定管理制度導入を含めた検討を進める。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 縮小 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 9 | 事業名 | 5-1-1 市民農園整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 市保有地の農的な活用として、市民農園の整備、改修を目的とし、総持寺ふれあい農園の老朽化施設の改修を行う。 | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 総持寺ふれあい農園の老朽化したコンクリート塀（万年塀）の改修を行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 完了 |
| | | | R4 | |
| R5 | | | | |
| R6 | | | | |
| 10 | 事業名 | 5-1-1 景観作物活用・栽培事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 直売活動や都市と農村の交流活動を活発化させるため、新たな特産品（れんげ米）の栽培・販売支援を行う。また、景観作物（れんげ）を一団で栽培する取組みに対する支援を行う。 | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 農業者団体へのれんげ栽培の周知や府と連携した栽培講習会を開催し、より良い栽培方法の検討・研究を行う。また試験的にれんげ米栽培を行ってもらっている農業者団体13団体、れんげ米栽培水田に隣接する田畑において、れんげを栽培し一団として景観形成を図る1団体に対して、補助金による支援を行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 拡充 |
| | | | R4 | 拡充 |
| R5 | 拡充 | | | |
| R6 | 拡充 | | | |




2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|--|----------|------|
| 11 | 事業名 | 5-1-2 産業振興アクションプラン推進事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 産業振興ビジョン（平成21年度策定）の基本的な考え方を基に、総合計画を基本指針として、重点施策及びそのための取組を検討、実施し、本市産業の振興につなげる。 | 商工労政課 | |
| | 内容 | ①令和元年度の現況調査の結果を基に、令和3年度から取り組む重点施策とそのため の実行計画を検討する。 ②各事業の進捗を確認し、それを踏まえて、適宜、実行計画の見直しを行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 12 | 事業名 | 5-1-2 中心市街地における商業活性化の推進 | 担当課 | |
| | 目的 | 中心市街地活性化基本計画に基づき、まちづくり会社の動きと連動して効果的に商業の活性化を図る。 | 商工労政課 | |
| | 内容 | 中心市街地活性化事業と連携した取組の検討を行う。（まちづくり会社が実施する商業活性化事業との連携、クリエイターズマーケットの入居者や、そこからの退去後に独自出店する事業者への支援策の検討など） 【まちづくり会社の事業】 令和3年度予定 クリエイターズマーケット開店 令和4年度予定 にぎわい空間整備事業による開店 令和5年度予定 店舗誘致設置事業開始 | 方向性 | |
| | | | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 拡充 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 13 | 事業名 | 5-1-2 災害復旧支援利子補助金 | 担当課 | |
| | 目的 | 市内の中小企業者に対し、大阪北部地震又は平成30年台風21号に起因した融資について利子補助金を交付することにより、その利子負担の軽減を図り、もって市内産業の早期復興を図る。 | 商工労政課 | |
| | 内容 | 補助金の縮小及び廃止を行う。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 縮小 |
| | | | R3 | 縮小 |
| | | | R4 | 縮小 |
| R5 | 廃止 | | | |
| R6 | | | | |
| 14 | 事業名 | 5-1-4 インキュベーション活動の方向性及び支援 | 担当課 | |
| | 目的 | インキュベーション活動が継続して行えるよう、彩都東部地区の都市づくりを計画的に進める。 | 商工労政課 | |
| | 内容 | ①パイオインキュベーション施設のマスターリース契約期間が令和5年9月末で終了するため、10月以降も入居者が安定的、継続的にインキュベーション活動が行えるよう、契約期間終了後のあり方について、国、府及び市の3者で協議を行う。 ②彩都東部地区の区画整理事業の実施にあたり、彩都パイオインキュベーション施設の入居者が市内で継続的に企業活動が行えるよう、大阪府をはじめ彩都建設推進協議会を構成する民間事業者と連携・協力し、事業用地の確保に向けた取組を進める。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 15 | 事業名 | 5-1-5 支援方策検討会による就労後のフォローアップ協議 | 担当課 | |
| | 目的 | 支援対象者の就労後における中・長期的なフォローアップについて、各機関の役割分担や有効な支援方策について協議を行い、支援対象者の自立支援に寄与する。 | 人権・男女共生課 | |
| | 内容 | ・就労支援対象者が就職した後も、センター総合相談等に誘導し、継続的な関係構築を行う。 ・支援方策検討会による各機関の情報共有、支援方策を検討。対象者の就労継続に関する課題や困り事を早期に把握し、相談・支援を行っていく。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 拡充 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 16 | 事業名 | 5-1-5 就職サポート事業 能力開発講座 | 担当課 | |
| | 目的 | 働く意欲がありながら就労を実現できない方の就労の実現を図るため、働くにあたり必要な知識や技能の習得を支援する。 | 商工労政課 | |
| | 内容 | 能力開発講座を拡充し、育児・介護・障害等様々な制約により外で働くことが困難な方を対象に、在宅ワーク（自営型テレワーク）に必要な知識の修得ができる講座を開催する。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 拡充 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|------------|---|------------|----|
| 17 | 事業名 | 5-1-6 雇用・労働関係セミナー及び労働に関する啓発事業 働き方改革の推進 | 担当課 | |
| | 目的 | セミナーの開催やリーフレットの作成・配布等の啓発活動等により、働き方改革を推進し、健全な雇用関係の確立及び働きやすい職場環境の実現を図る。 | 商工労政課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 働き方改革関連法については、従来から実施しているセミナーのテーマにするとともに、様々な機会を活用し、国・関係機関等が作成したリーフレットを配布することにより、勤労者をはじめとする多くの方への周知を図る。また、働き方改革の実践につながる事業の検討を進める。 | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 拡充 |
| | | | R4 | 拡充 |
| R5 | | | 継続 | |
| | | R6 | 継続 | |





1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------------------|
| 1 | 施策 | 5-2 | 地域特性をいかした計画的な都市づくりを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、限られた資源を有効に活用し、省エネルギー型の都市をめざすとともに、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。</p> | |
| 4 | 取組 | 5-2-1 | 計画的な都市基盤整備や市街地整備 |
| | | 5-2-2 | 彩都の都市づくり |
| | | 5-2-3 | 適切な開発や建築物・土地利用の誘導 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|---|------------|-----|---------|----|
| 1 | 事業名 | 5-2-1 | 幹線道路沿道土地利用 | 担当課 | | |
| | 目的 | <p>広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりや活性化といった課題解決を図る。</p> | | | 都市政策課 | |
| | 内容 | 要綱に基づき補助金を交付する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 完了 | |
| | | | | R6 | | |
| 2 | 事業名 | 5-2-2 | 彩都建設推進事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | <p>大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。</p> | | | 北部整備推進課 | |
| | 内容 | <p>彩都西部地区における交番の設置について要望を行う。 彩都東部地区の残エリアの事業化に向けた取組への支援を行う。 彩都東部地区C区域の事業推進への支援を行う。</p> | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------------|
| 1 | 施策 | 5-3 | 良好で住みよい都市づくりを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |     | |
| 3 | 施策の方向性 | 市民、事業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルール作成、適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行うほか、低炭素型で誰にもやさしい福祉のまちづくり、緑地の適正な保全と緑化を推進し、みどりをいかしたるおいのある環境づくりを進めるとともに、安全で快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住み続けたいまちをめざします。また、今後も増加すると懸念される空家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。 | |
| 4 | 取組 | 5-3-1 | 快適で良好な住環境の形成 |
| | | 5-3-2 | 都市におけるみどりの形成 |
| | | 5-3-3 | 良好な景観の保全と創造 |
| | | 5-3-4 | 良好な住宅ストックの形成 |
| | | 5-3-5 | 危険家屋・老朽マンション対策 |
| | | 5-3-6 | 公的住宅の改善・充実 |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|---|-----|---|------------------|--|
| 1 | 事業名 | 5-3-1 | バリアフリー化推進事業（ソフト） | 担当課 |
| | 目的 | 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に基づき、旅客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害者等が利用する施設が集まった地区（重点整備地区）のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する。 | | 道路交通課 |
| | 内容 | バリアフリー基本構想に基づく各種取組の進行管理を行う。 | | 方向性 R2 継続 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 2 | 事業名 | 5-3-1 | バリアフリー化推進事業（ハード） | 担当課 |
| | 目的 | バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区の道路などのバリアフリー化に取り組む。 | | 道路交通課 |
| | 内容 | 生活関連経路の工事を行う。（市道松下町西穂積線ほか） | | 方向性 R2 継続 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 3 | 事業名 | 5-3-2 | 元茨木川緑地リ・デザイン事業 | 担当課 |
| | 目的 | 元茨木川緑地が身近で安全な空間と快適な環境を確保するため、市民、学識経験者、造園の専門家等と協働して樹木や施設等の更新を進めるとともに、市民参加による維持管理運営及び活用プログラムの構築に取り組む。 | | 公園緑地課 |
| | 内容 | ①活動・文化を育む仕組みづくりとして、リ・デザイン計画を推進する市民参加の仕組みの基盤づくりを進める。 ②植栽環境の健全化として、樹木調査及び植栽管理ガイドラインを作成する。 ③利活用空間の創出として、先行的に整備を進める箇所の基本計画図を作成する。 | | 方向性 R2 拡充 R3 拡充 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 4 | 事業名 | 5-3-2 | さくらまつり実施事業 | 担当課 |
| | 目的 | 「元茨木川緑地リ・デザイン」の一環として、民間事業者による自由な発想を活用し、市民活動団体や市内の学生の活動発表の場、市内飲料団体による花見客へのサービスの提供など新たな魅力の展開となる催しを実施することで活動人口の増加を促進する。 | | 公園緑地課 |
| | 内容 | ①市民活動や市民主体の催しの場としての活用を関係課と進める。 ②周辺住民に配慮し改善して実施する。 ③自然な状態で桜を楽しめるよう改善していく。 | | 方向性 R2 縮小 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |




2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|---|---|-------|----|
| 5 | 事業名 | 5-3-2 若園公園バラ園再整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 令和元年度をもってバラ園の苗木の更新、施設の改修を完了するが、改装されたバラ園を市民に一層活用してもらう。 | 公園緑地課 | |
| | 内容 | 改装された、バラ園内のイベントスペースを市民に幅広く開放し活用してもらうとともに、バラ鑑賞への集客効果を高め、相乗効果を図る。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 縮小 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| 6 | 事業名 | 5-3-2 公園再整備事業 | 担当課 | |
| 目的 | 子どもや高齢者をはじめ、誰もが安全で安心して利用できる場を提供することにより、地域の活性化を図るものであり、長寿命化計画および遊具の安全点検結果をもとに地域のニーズにマッチした遊具・公園への再整備を進めていく。 | 公園緑地課 | | |
| 内容 | ①公園再整備を行う。（3～5か所程度） ②実施設計を行う。 ※喫緊の課題であった老朽化した大型木製遊具の更新については令和元年度に概成。今後は事業費は縮小となるが市民ニーズも高いことから事業を継続する。 | 方向性 | | |
| | | R2 | 縮小 | |
| | | R3 | 継続 | |
| | | R4 | 継続 | |
| | | R5 | 継続 | |
| 7 | 事業名 | 5-3-3 中心市街地等における景観形成の推進について | 担当課 | |
| 目的 | 市中心部の魅力向上や賑わい形成を図り、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成に向けた取組みを行う。 | 都市政策課 | | |
| 内容 | 中心市街地における東西軸の公共空間において、賑わいが生まれる質の高いデザインを目指すため、デザインガイドライン策定と景観計画見直しを行い取組みを進める。また、歴史・文化的景観を継承し、その地域特性を活かした魅力あるまちづくりを図るため、歴史・文化的価値のある町屋の保存と活用を検討する。 屋外広告物条例については、景観に配慮した屋外広告物の誘導を図るため、本市独自の屋外広告物条例制定に向けて取組む。 | 方向性 | | |
| | | R2 | 新規 | |
| | | R3 | 継続 | |
| | | R4 | 継続 | |
| | | R5 | 完了 | |
| 8 | 事業名 | 5-3-4 居住施策の推進 | 担当課 | |
| 目的 | 住まいの維持に関する知識や関心を高め、適時適切な修繕やリフォームの実施により、質の高い住まいの持続や暮らしやすさの向上につなげる。 | 居住政策課 | | |
| 内容 | 住まいの維持管理に役立つ情報を収集するとともに、見やすいホームページの作成をはじめとした効果的な周知方法を検討し、啓発を行う。 | 方向性 | | |
| | | R2 | 新規 | |
| | | R3 | 継続 | |
| | | R4 | 継続 | |
| | | R5 | 継続 | |
| 9 | 事業名 | 5-3-4 住宅セーフティネットの体制構築 | 担当課 | |
| 目的 | 住宅確保要配慮者の住まいの確保に向けて、不動産会社等への啓発を行う。また、住まいの確保にあたっては、既存の居住支援法人の活用と並行して、福祉部局と連携のうえ、市内における新たな入居支援の担い手を検討する。 | 居住政策課 | | |
| 内容 | 不動産関係団体への協力依頼や事業者個別訪問により、住宅セーフティネット制度の普及啓発を図る。また、既存の居住支援法人の活用が進むよう情報提供を行うとともに、新たな入居支援の担い手について検討を進める。 | 方向性 | | |
| | | R2 | 新規 | |
| | | R3 | 継続 | |
| | | R4 | 継続 | |
| | | R5 | 継続 | |
| 10 | 事業名 | 5-3-4 分譲マンションの主体的な維持管理の推進 | 担当課 | |
| 目的 | 分譲マンションの管理組合との連絡体制を構築し、管理組合による主体的な維持管理を推進する。 | 居住政策課 | | |
| 内容 | 分譲マンションの管理状況や課題を把握するため実態調査を実施する。 また、各種セミナーや相談会の開催、I'mネット（いばらきマンション管理組合ネットワーク）との連携により管理組合や区分所有者へ情報提供を行う。 | 方向性 | | |
| | | R2 | 拡充 | |
| | | R3 | 継続 | |
| | | R4 | 継続 | |
| | | R5 | 継続 | |
| | | | R6 | 継続 |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|------------|---|------------|----|
| 11 | 事業名 | 5-3-6 市営住宅長寿命化計画 | 担当課 | |
| | 目的 | 市営住宅を安全で安心な住まいとして長期間にわたって確保しつつ、維持管理費の削減や事業量の平準化を行い、適切な管理・運営や補助金を活用し工事を実施する。 | 建築課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 市営住宅の長寿命化を図るため、予防保全的な観点から、外壁改修、屋上防水や給排水設備などの修繕や改修工事を行う。 | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | |
| | | R6 | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|--|
| 1 | 施策 | 5-4 | 時代の変化に対応した官民連携による都市づくりを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | | 将来にわたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生活を支える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめとする豊かな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくりを進めます。また、まちづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促進に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力を発信していきます。 |
| 4 | 取組 | 5-4-1 | 生活を支える拠点・ネットワークの整備・充実 |
| | | 5-4-2 | 魅力ある中心市街地（市民会館跡地エリア・駅周辺等）の整備 |
| | | 5-4-3 | J R・阪急総持寺駅をいかした都市づくり |
| | | 5-4-4 | 北部地域の魅力向上 |
| | | 5-4-5 | 官民連携によるまちづくりの推進 |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|-------|---|---|-----|----|
| 1 | 事業名 | 5-4-1 | 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | | 市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 | 市街地新生課 | | |
| | 内容 | | | 令和2年度末の都市計画決定に向け取組む。又、都市計画決定後の事業計画認可、権利変換計画認可の取得を経て、早期着手を目指し西口駅前周辺の魅力あるまちづくりの実現に向けた取組を行う。 | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | R6 | 継続 | | |
| 2 | 事業名 | 5-4-1 | JR茨木駅西口駅前周辺整備事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | | 市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 | 市街地新生課 | | |
| | 内容 | | | 西口駅前における公共交通等の交通体系を踏まえ、当地区のまちづくりの基本計画の作成、民間活力の導入、将来イメージの作成等を行い、関係権利者、市民等と共有を図りながら、再整備計画案の作成に向けた協議・検討を行う。 | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | R6 | 継続 | | |
| 3 | 事業名 | 5-4-2 | 「育てる広場」事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | | 暫定広場を使った社会実験や、市民企画によるプレ事業など、さまざまな「参加」の機会を設け、まちづくりの担い手発見や、「育てる広場」実現に向けた機運の持続と期待感醸成を図る。 | 市民会館跡地活用推進課 | | |
| | 内容 | | | ①市民会館跡地を活用した暫定広場において、市民と行政と一緒に、「つかう」と「つくる」を繰り返し、多様な人が「つながり」を持ちながら育てていく広場をめざす社会実験を行う。(R2~R5) | 方向性 | |
| | | | | ②令和5年秋のIBALAB広場に予定している施設・広場の完成に向け、市民企画によるプレ事業及び開館事業などを実施する。(R4~R5) | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | R6 | 継続 | | |
| 4 | 事業名 | 5-4-2 | 市民会館跡地エリア整備事業（ソフト） | 担当課 | | |
| | 目的 | | 図書館、ホール、広場等の管理運営のほか、市民参加の仕組み等を検討することで、跡地エリアにおける各機能の相乗効果発現を図る。また、敷地C、Dの整備について、計画策定を行う。 | 市民会館跡地活用推進課 | | |
| | 内容 | | | ①新施設や広場を運営する上で必要となる管理運営の手法や、組織体制、今後の事業展開等を検討し、管理運営計画を策定するとともに、敷地C・Dの最適な整備手法の検討材料とするため、PPP手法についての導入調査を実施する。(R1~R2) | 方向性 | |
| | | | | ②令和2年度実施の調査結果を踏まえ、敷地C、D整備基本計画を策定する。(R3) | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 完了 | |
| | | | R6 | | | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|---|--------------------|----|
| 5 | 事業名 | 5-4-2 市民会館跡地エリア整備事業（ハード） | 担当課 | |
| | 目的 | 「育てる広場」のキーコンセプトに基づき、新施設及び広場の整備を行い、市民にとっての新たな心の中心地とする。 また、第二期エリアとして敷地C、Dの整備を行い、跡地エリア全体が、人が移動・滞留・回遊し、にぎわい、憩いの起点となるエリアとする。 | 市民会館跡地活用推進課 方向性 | |
| | 内容 | ①市民会館跡地を活用した暫定広場の整備を行う。（R1～R2） ②新施設整備予定地内の国有地を購入する。（R2） ③新施設及び広場の設計・施工業務を行う。（R2～R5） ④新施設完成後、福祉文化会館の解体及び敷地C、Dの整備工事を行う。（R6～） | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 6 | 事業名 | 5-4-2 茨木市中心市街地活性化基本計画事業実施支援事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 茨木市中心市街地活性化基本計画に記載した主たる事業を担う市出資のまちづくり会社の事業実施等を支援することにより、本市中心市街地の活性化を図る。 | 市街地新生課 方向性 | |
| | 内容 | 本計画に掲げる道路占用特例の活用による「道路空間活用事業」や「店舗誘致事業」等の実施主体となるFICベース株式会社の初動期の事業実施や運営等に対する支援を行う。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 7 | 事業名 | 5-4-2 茨木市中心市街地活性化基本計画管理事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 本市中心市街地の活性化に向け策定する基本計画記載の事業実施による効果等の検証を行い、後年度事業への施策展開を図る。 | 市街地新生課 方向性 | |
| | 内容 | 本計画に掲げる目標指標の達成状況を把握するとともに、事業実施による効果等の検証ならびにフォローアップを行う。 | R2 | 新規 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |
| 8 | 事業名 | 5-4-3 JR総持寺駅周辺整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | JR総持寺駅の開業を受け、利用者の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図るため、駅前周辺道路等の整備を行う。 | 道路交通課 方向性 | |
| | 内容 | 庄中央線及び総持寺駅前線の整備等を行う。 | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 完了 | | | |
| 9 | 事業名 | 5-4-3 阪急総持寺駅西口駅前交通広場整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 平成30年春に開業したJR総持寺駅の整備効果をより活かすため、阪急総持寺駅西口に駅前交通広場を整備することにより、総持寺地域の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。 | 道路交通課 方向性 | |
| | 内容 | 阪急総持寺駅西口駅前交通広場事業地内の建物等の物件調査を委託して実施する。 | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 完了 | | | |
| 10 | 事業名 | 5-4-4 ダム周辺整備事業 | 担当課 | |
| | 目的 | ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 | 北部整備推進課 方向性 | |
| | 内容 | 民間事業者公募・決定をする。 安威川ダム周辺整備基本計画の策定をする。 安威川ダム周辺整備事業に係る用地の買収と基盤の造成を行い、公園の開設をする。 ダムサイト周辺遊歩道の整備を行う。 | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|--|---------|----|
| 11 | 事業名 | 5-4-4 いばきたデザインプロジェクト | 担当課 | |
| | 目的 | 「山とまちをつなぐ」をテーマに活動(関係)人口の増加を図る。 | 北部整備推進課 | |
| | | | 方向性 | |
| | 内容 | 地域・組織とともに課題や魅力を見つめなおし、課題解決へ向けたプロセスのデザイン・地域等の主体的な活動の促進・取組みの経過を市内外の方々にプロモーションする。 | R2 | 継続 |
| | | | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | 継続 | |
| | | R6 | 継続 | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|--------------------|
| 1 | 施策 | 5-5 | 暮らしと産業を支える交通を充実させる |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 国土軸に位置する優位性をさらにかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやすい・移動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間の安全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。 | |
| 4 | 取組 | 5-5-1 | 公共交通の維持・充実 |
| | | 5-5-2 | 道路整備の推進 |
| | | 5-5-3 | 駐車場・駐輪場の充実 |
| | | 5-5-4 | 歩行者、自転車利用環境の整備 |
| | | 5-5-5 | 交通安全対策の推進 |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|----------------|-----|-------|----|
| 1 | 事業名 | 5-5-1 | 公共交通対策事業（ソフト） | 担当課 | | |
| | 目的 | 持続可能な公共交通サービスを確保するため、積極的な利用を促すとともに、社会実験等を行いながら、地域の実情に合った交通手段を検討する。 | | | 道路交通課 | |
| | 内容 | バス事業者を対象に、地域バス路線維持費補助金の交付を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 5-5-1 | 茨木市総合交通戦略事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 本市にふさわしい交通のあり方の実現に向け、市民、交通事業者、関係機関など多様な主体との協働により、計画的に交通施策を推進する。 | | | 道路交通課 | |
| | 内容 | ①計画の進行管理 ②計画に位置付けられている中期施策の実施（必要に応じ、見直した施策の実施） | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 廃止 | |
| R6 | | | | | | |
| 3 | 事業名 | 5-5-1 | 公共交通対策事業（ハード） | 担当課 | | |
| | 目的 | 持続可能な公共交通サービスを確保するため、鉄道利用者の安全確保を目的に、鉄道駅における可動式ホーム柵等の整備を促進する。 | | | 道路交通課 | |
| | 内容 | 鉄道駅可動式ホーム柵の整備に対して補助金の交付を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 4 | 事業名 | 5-5-2 | 道路新設・改良事業（補助分） | 担当課 | | |
| | 目的 | 歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、国からの補助採択を受けて、用地買収、歩道整備や車道の拡幅及び交差点改良を行う。 | | | 道路交通課 | |
| | 内容 | 宿久庄二丁目安威一丁目線及び天王一丁目沢良宜西二丁目線の整備を行う。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 完了 | |
| R6 | | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|----------------|-----|-------|----|
| 5 | 事業名 | 5-5-2 | 道路新設・改良事業（単独分） | 担当課 | | |
| | 目的 | 歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、市の単独事業として現道に沿って歩道及び車道の拡幅整備を行う。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 沢良宜西一丁目玉島台線、沢良宜西四丁目地区内線及び上穂東町4号線の整備を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 6 | 事業名 | 5-5-2 | 橋梁新設改良事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 橋梁耐震診断の結果を基に、補強・補修をすることにより、地震発生時における安全を確保するとともに、老朽化橋梁の架け替えや改良を実施する。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 野々宮3号線（あけぼの橋）の整備を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 7 | 事業名 | 5-5-2 | 道路維持事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 現状道路の維持管理を適切に実施するため道路構造物の整備を積極的に推進するとともに、清掃、除草等を実施するもの。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 年次計画に基づき、道路構造物の維持補修を行うとともに、要望等に応じてその都度、対応を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 8 | 事業名 | 5-5-2 | 道路舗装事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 比較的交通量の多い主要道路の舗装を各種調査に基づき、打ち替え等を行うもの。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 松沢池南線（ほか2路線）の舗装打ち替え等を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 9 | 事業名 | 5-5-2 | 新名神周辺道路等整備事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、新名神関連事業として市道の拡幅を行い、歩行者、車両等の安全を確保する。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 泉原千提寺線等の整備を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 10 | 事業名 | 5-5-2 | 道路簡易舗装事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 生活道路等の舗装について打ち替え、補修などを現地調査に基づき行うもの。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 現地調査や要望等に応じて、傷んだ舗装の打ち換え等を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|----------------------|-----|-------|----|
| 11 | 事業名 | 5-5-2 | 橋梁維持事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 本市管理橋梁について、橋梁を常に健全な状態に保つことで、歩行者及び車輛の通行の安全を確保するとともに、予防保全による計画的修繕（長寿命化修繕）の実施により、リコストの縮減を図る。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 市管理橋梁の法定点検と、個別施設計画に基づき必要な維持補修工事を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 12 | 事業名 | 5-5-3 | 駐車場需要予測調査 | 担当課 | | |
| | 目的 | 市内における駐車場の需要予測を行い、必要な台数をふまえて適正な配置や台数を検討する。 | | | 建設管理課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 将来の需要予測による収容台数等を検討する。 | | | R2 | 完了 |
| | | | | | R3 | |
| | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 13 | 事業名 | 5-5-3 | モノレール駅自転車駐車場の駐車台数の拡充 | 担当課 | | |
| | 目的 | 放置自転車を駐車場へ誘導・整理し、定期利用者の待機を無くすとともに駅前広場の美観を改善する。 | | | 建設管理課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 駅周辺における放置自転車対策を推進するため、モノレール彩都西駅・豊川駅自転車駐車場の駐車台数を拡充する。 | | | R2 | 完了 |
| | | | | | R3 | |
| | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 14 | 事業名 | 5-5-4 | 自転車利用環境整備事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 安全で快適な自転車利用環境の実現を目的に自転車利用環境整備計画に基づいた整備を行う。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 優先整備対象路線（市道田中町西河原線ほか）の整備を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 15 | 事業名 | 5-5-5 | 交通安全対策事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 交通事故の撲滅や無秩序なめいわく駐車・違法駐車排除を図るため、交通安全教室等を実施するとともに、交通事故を防止し、公共交通による移動支援を促すことを目的とした補助を行う。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | ①交通安全教室を実施する。 ②「交通事故をなくす運動」茨木推進本部に対して交付金の交付を行う。 ③茨木市高齢者運転免許証自主返納支援事業を推進する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 16 | 事業名 | 5-5-5 | 歩道設置事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 歩行者等の安全確保やバリアフリー化を推進するため、通学路になっている市道において歩道を整備するとともに、歩道の段差解消や改良を行う。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 歩道段差の改良工事、横断歩道の新設工事、通学路カラー舗装を実施する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |






2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|------------|---|--------------|------------|------------|----|
| 17 | 事業名 | 5-5-5 | 交通安全施設整備事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 道路の安全性向上を図るため、市道及び市管理道路において安全施設（カーブミラー、横断防止柵、ガードレール、車止め等）を整備する。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 市道及び市管理道路において安全施設の整備を行う。 | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 18 | 事業名 | 5-5-5 | 交通安全施設維持管理事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 市道及び市管理道路において設置されている道路の安全施設（カーブミラー、横断防止柵等）の維持管理を行うとともに、交通量を調査し、道路改良工事における資料として活用する。 | | | 道路交通課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 交通安全施設の修繕及び交通量の調査を行う。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |

【 まちの将来像6 】

心がけから行動へ
みんなで創る環境にやさしいまち




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|--|---------------------|
| 1 | 施策 | 6-1 | いごこちの良い生活環境をたもつ |
| 2 | 対応するSDGs |      | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>大気・水環境等の環境監視による環境の把握に努めるとともに、事業者に対する指導や公共下水道・公設浄化槽の整備による環境の保全対策を進めます。また、環境美化や路上喫煙防止などについての意識啓発を進め、市民一人ひとりのマナーが向上し、いごこちの良い生活環境を保ちます。</p> | |
| 4 | 取組 | 6-1-1 | 健康に過ごすことができる生活環境の保全 |
| | | 6-1-2 | 新たな環境課題への対応 |
| | | 6-1-3 | 快適環境の保全 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|---|-----|---------|
| 1 | 事業名 | 6-1-3 路上喫煙防止事業 | 担当課 | 市民生活相談課 |
| | 目的 | <p>現行の路上喫煙禁止地区に加え、人通りが多く啓発効果が期待できる場所を新たな路上喫煙禁止地区として指定するとともに、喫煙者にも一定配慮し喫煙場所を設置することによって、より一層の路上喫煙の防止を図る。</p> | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | 内容 | <p>これまでの路上喫煙禁止地区に加え、新たに路上喫煙禁止地区に指定した阪急南茨木駅・大阪モノレール南茨木駅周辺およびJR総持寺駅周辺にもマナー推進員を配置し、巡回指導および啓発を実施する。 また、大阪モノレール南茨木駅駅舎下に喫煙場所を新設したことから、既存のJR茨木駅西口とあわせ喫煙場所の清掃業務を委託する。</p> | R3 | 継続 |
| | | | R4 | 継続 |
| | | | R5 | 継続 |
| R6 | | | 継続 | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|------------------|
| 1 | 施策 | 6-2 | バランスのとれた自然環境をつくる |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | みどりを育む取組や生態系への配慮を推進するとともに、身近な「まちの緑」「農地」「里山」「水辺」を保全し、自然とふれあう機会の創出に取り組み、人の生活と自然とのバランスのとれた自然環境を創ります。 | |
| 4 | 取組 | 6-2-1 | 都市とみどりの共存 |
| | | 6-2-2 | 自然資源の利用の推進 |
| | | 6-2-3 | 生物多様性の保全 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |





2 新規・拡充事業等

| | | | | | | | |
|----|-----|--|------------|-----|----------|-----|------|
| 1 | 事業名 | 6-2-1 | 緑の基本計画推進事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | | |
| | 目的 | 緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する目標や取り組み方針、施策を定め、総合的かつ計画的に実施する。 | | | | | |
| | 内容 | 計画期間の中期に進捗状況の把握、検証を進め、それを踏まえて施策、取組みの中間見直しを行い、進捗管理とともに今後の計画の実効性を高める。 | | | | | |
| | | | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | | R3 | 継続 |
| R4 | 継続 | | | | | | |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 6-2-1 | 緑化技術等普及事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | | |
| | 目的 | 地域緑化の進展のため、市民個々の緑化意識の向上と共に、緑化技術や知識の普及などを支援し、市民主体の緑化活動を促進する。また、民有地でのバラ栽培の普及と共に、市営バラ花壇の市民運営に向けた取り組みを進め、市民によるバラ普及活動の活性化をめざす。 | | | | | |
| | 内容 | 緑の相談、緑の勉強会を充実するとともに、緑化リーダー育成講座の開催により市民主体の緑化活動を活性化する取り組みを進め、将来的な緑の普及・啓発・活動の拠点となる施設の開設を検討する。また、バラ栽培講座を実施して、市営バラ花壇の市民による自主運営に向けた取り組みを進める。 | | | | | |
| | | | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | | R3 | 継続 |
| R4 | 継続 | | | | | | |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 3 | 事業名 | 6-2-1 | 民有地緑化助成事業 | 担当課 | 農とみどり推進課 | | |
| | 目的 | 都市緑化の推進のためには民有地の緑化が重要であり、市民が利用しやすい助成制度へと改善することで事業効果を高め、市民主体による緑のまちづくりの促進を図る。 | | | | | |
| | 内容 | 民有地緑化の実態に対応して制度を改善するとともに、企業地の緑化促進のため、企業が活用しやすい施策を検討する。 | | | | | |
| | | | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | | R3 | 継続 |
| R4 | 継続 | | | | | | |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 4 | 事業名 | 6-2-1 | 保存樹制度 | 担当課 | 農とみどり推進課 | | |
| | 目的 | 良好な都市環境を確保するため、市街地等の美観・風致を維持する樹木等を指定する制度であり、制度の活用と共に、新たな支援策を検討する。 | | | | | |
| | 内容 | 制度や指定樹木の周知を進めながら、病虫害防除業務を縮小、廃止し、新たに専門家による樹木診断等より効果的な支援策を検討、実施することで保存樹木の保全を推進する。 | | | | | |
| | | | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | | R3 | 拡充 |
| R4 | 継続 | | | | | | |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | |
|----|-----|--|-----|----------|----|
| 5 | 事業名 | 6-2-3 ホタル再生事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 西河原公園で自生するゲンジボタルの生息環境を保全管理し、自生を維持することで、公園で自然にホタルとふれあえる環境を創出し、自然環境や生物多様性を啓発する。また、環境保全団体等との連携により、ボランティアによる生息環境の保全管理をめざす。 | | 農とみどり推進課 | |
| | 内容 | 西河原公園においてゲンジボタルの生息環境を保全管理することでホタルを保護するとともに、住民参加によるホタル保護活動を模索する。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | | 継続 | |
| | | | R5 | 継続 | |
| | | | R6 | 継続 | |
| 6 | 事業名 | 6-2-3 いばらきの生きもの博の開催 | 担当課 | | |
| | 目的 | 多くの人が気軽に立ち寄る中央図書館において、「いばらきの生きもの博」と題して、市域に生息するが普段見ることができない生きものを間近に見る機会を提供するほか、生物多様性に関する情報を総合的に発信する。 | | 環境政策課 | |
| | 内容 | 市域で見られる生物の実物や標本、パネル展示を行うほか、専門家によるワークショップを開催する。展示では、いばきたにある千提寺地区のビオトープを紹介するとともに、河川や里山で開催する市主催講座を周知し、実際に生きものが生息するフィールドでの体験学習への参加を促す。その他、図書館と連携して生物多様性関連書籍の特集展示を行う。 | | 方向性 | |
| | | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 |
| | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | 継続 | |
| | | | R6 | 継続 | |




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------------------|
| 1 | 施策 | 6-3 | ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす |
| 2 | 対応するSDGs |     | |
| 3 | 施策の方向性 | 市が率先して省エネルギー対策を行うとともに、市民や事業者と連携して、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの推進に努めます。また、情報交換の場を通じて様々な主体が連携し、新たな取組の輪を広げ、ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざします。 | |
| 4 | 取組 | 6-3-1 | 省エネルギーの実践及び普及啓発 |
| | | 6-3-2 | 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|-----------------------|-----|-------|------|
| 1 | 事業名 | 6-3-1 | エコポイントのデジタル化 | 担当課 | 環境政策課 | |
| | 目的 | エコポイント制度の利便性を高め、より多くの市民が環境に配慮した行動に取り組むよう促す。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | ICTビジョンに基づき、令和2年度に市公式総合アプリ「いばライフ」にエコポイントの管理機能を実装し、運用面や機能面の改善を図る。 | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 6-3-1 | 茨木市地球温暖化対策実行計画区域施策編改定 | 担当課 | 環境政策課 | |
| | 目的 | 温室効果ガスの削減に向け、市民・事業者・市をはじめとする本市に関わる主体が実施すべき、本市の特性を踏まえた取組を総合的かつ計画的に推進するための計画を策定する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 2012年（平成24年）3月に策定した「茨木市地球温暖化対策実行計画」について成果と課題を整理して、2013年度を基準年度とし2030年度を目標年度とした次期「茨木市地球温暖化対策実行計画」を策定する。 | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 6-3-2 | 庁舎へのLED導入事業 | 担当課 | 総務課 | |
| | 目的 | 庁舎の省エネルギー化を推進するため、年次的にLED照明設備等を導入する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 令和2年度から令和6年度にかけて、南館10階（528本）、本館地下1階・地下2階（251本）、南館地下1階・地下2階（259本）、上中条分室1階～3階（322本）、合同庁舎1階～7階（1,724本）のLED照明設備等を導入する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 完了 | | | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-------------------|
| 1 | 施策 | 6-4 | きちんと分別で資源の循環をすすめる |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | 資源の循環とごみの減量化を図るため、新たな分別品目の追加検討を行うとともに、市民等への意識啓発に努めるほか、処理施設については、広域処理に向けて計画的に長寿命化工事に取り組みます。また、市民、事業者は、ごみの発生抑制、再資源化に努め、きちんとした分別で資源の循環を進めます。 | |
| 4 | 取組 | 6-4-1 | 減量化の推進 |
| | | 6-4-2 | 再資源化の推進 |
| | | 6-4-3 | 適正処理の推進 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等




| | | | | | | | |
|----|-----|---|--------------|-----|-------|-----|----|
| 1 | 事業名 | 6-4-1 | ごみ分別アプリ | 担当課 | 資源循環課 | | |
| | 目的 | 適正なごみの出し方等の情報を市民に提供し、ごみの分別を進めることにより、資源の循環を促進する。 | | | | | |
| | 内容 | PDF掲載機能等を追加することにより、提供する情報量を向上させる。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 6-4-1 | 事業所訪問・指導事業 | 担当課 | 資源循環課 | | |
| | 目的 | 廃棄物多量排出事業者への訪問・指導を効率化することにより、事業系ごみのより効果的な減量啓発を図る。 | | | | | |
| | 内容 | 訪問先での指導内容及び方法を検討した上で、訪問対象事業所を見直す。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |
| 3 | 事業名 | 6-4-1 | レジ袋無料配布中止 | 担当課 | 資源循環課 | | |
| | 目的 | 事業者とレジ袋無料配布中止を趣旨とする協定を締結することにより、廃プラスチック及び二酸化炭素の排出抑制を図る。 | | | | | |
| | 内容 | スーパー等の事業者に対し、国のレジ袋有料化義務化の周知・働きかけをおこなう。また、「北摂マイバッグ持参促進・レジ袋削減協議会」において、他自治体・事業者と意見交換し、今後の協議会の方向性を検討する。 | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | | R4 | 拡充 |
| R5 | 拡充 | | | | | | |
| R6 | 拡充 | | | | | | |
| 4 | 事業名 | 6-4-2 | 雑がみ分別保管袋配布事業 | 担当課 | 資源循環課 | | |
| | 目的 | 雑がみを分別保管する袋を配布することにより、雑がみが再生可能な資源物であることを啓発する。 | | | | | |
| | 内容 | イベントやキャンペーン、小学校等への出前講座の際に、雑がみ保管袋を市民へ配布する。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は事業を縮小) | | | | 方向性 | |
| | | | | | | R2 | 縮小 |
| | | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | 継続 | | | | | | |
| R6 | 継続 | | | | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|----------------|-----|-------|------|
| 5 | 事業名 | 6-4-3 | ごみ処理事業の広域化 | 担当課 | | |
| | 目的 | ごみ処理事業について、摂津市との広域連携を進めることにより、将来にわたって安定的かつ効率的な廃棄物処理体制を構築する。 | | | 資源循環課 | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・広域化に係る詳細内容、条件面等についての摂津市との協議、調整 ・摂津市からの搬入ルートの整備 ・広域処理に対応した施設整備 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| R5 | 完了 | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 6 | 事業名 | 6-4-3 | 災害廃棄物処理計画策定事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 想定される災害に対しての予防、応急対応、復旧・復興等に必要な事項をまとめた「茨木市災害廃棄物処理計画」を策定することにより、災害廃棄物の円滑な処理を推進する。 | | | 資源循環課 | |
| | 内容 | 令和元年度に作成した素案に基づき、計画を策定する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規完了 |
| | | | | | R3 | |
| | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 7 | 事業名 | 6-4-3 | 基幹的設備改良工事 | 担当課 | | |
| | 目的 | ごみ処理施設の長寿命化を図る。 | | | 環境事業課 | |
| | 内容 | 長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 8 | 事業名 | 6-4-3 | 第1工場建屋補修工事 | 担当課 | | |
| | 目的 | ごみ処理施設の建屋の長寿命化を図る。 | | | 環境事業課 | |
| | 内容 | 第1工場建屋劣化状況調査に基づき第1工場建屋の補修を実施する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規完了 |
| | | | | | R3 | |
| | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 9 | 事業名 | 6-4-3 | 環境衛生センター場内整備事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 摂津市との広域化および災害廃棄物処理体制の強化を図る。 | | | 環境事業課 | |
| | 内容 | データ処理システム、計量システム等を更新するとともに、場内動線の検討・整備を実施する。 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |

まちづくりを進めるための基盤




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 7-1 | まちの魅力を市内外に発信する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | シティプロモーション基本方針に基づき、市民・団体（NPO、地域団体など）、企業や大学、行政が協働して具体的な取組を進めるほか、対象者に応じた様々な広報媒体を活用して本市の魅力を市内外に積極的に発信します。また、魅力の発掘や資源間の連携による新たな魅力の創造にも努めます。 | |
| 4 | 取組 | 7-1-1 | 戦略的なシティプロモーションの構築と展開 |
| | | 7-1-2 | 魅力発信力の強化 |
| | | 7-1-3 | 魅力の発掘と創造 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|----------------------|-----|---------|----|
| 1 | 事業名 | 7-1-2 | ふるさと寄附金推進事業 | 担当課 | まち魅力発信課 | |
| | 目的 | 一定額以上の市外寄附者に地元特産品等を返礼品として提供し、本市及び本市特産品等の魅力を効果的にPRすることで、市内事業者の活性化を図るとともに、本市に愛着を感じ、応援していただける寄附者の増加を目的とする。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 本市の魅力や市内事業者の活性化につながる返礼品の充実を図る。また、市が進めているさまざまな新型コロナウイルス感染症対策に係る取組みを応援する市民・事業者の皆さまの想いの受皿として、「#エール茨木寄附」を創設・募集する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 2 | 事業名 | 7-1-2 | 茨木市魅力発信事業 | 担当課 | まち魅力発信課 | |
| | 目的 | 市のイメージアップや認知度アップにつながる情報発信を行い、市の魅力や市が持つ地域資源を市内外の多くの人に知ってもらうことを目的とする。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 子育て世帯訴求冊子「いばらき日和」の内容拡充を行う。また、コロナ禍において「頑張っている事業者さまの応援」や「外出自粛中でも楽しめる・ほっとできる」ことを目的とした情報発信「#エール茨木」を行う。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 7-1-3 | 映画「葬式の名人」活用プロモーション事業 | 担当課 | まち魅力発信課 | |
| | 目的 | 映画「葬式の名人」が市民の皆さまの心に残り続けるよう、「映画＝川端＝茨木」の定着を図るとともに、以後も継続的にプロモーションを行うことで映画を通じた市民の誇りと愛着の醸成を促進する。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 関係各課や団体と連携し、市民の方が多く訪れる市内図書館やメインロケ地の茨木高校で映画のパネル展示を行い、「映画＝川端＝茨木」のさらなる定着を図る。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| R6 | 継続 | | | | | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|------------------------------|
| 1 | 施策 | 7-2 | 社会の変化に対応する効率的・効果的な自治体運営を推進する |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>施策評価を含めた新たな行財政マネジメントシステムの確立や公共施設等の適正管理、市有資産の有効活用により、限られた経営資源を効率的にいかし、健全で安定した行財政運営を行います。また、情報通信技術などの新しい技術の活用により、場所や時間にとらわれない使いやすい行政サービスの提供を段階的に進めていきます。さらに、SDGsの趣旨を踏まえつつ、広い視野で、分野横断的に取組を進めるとともに、各主体とSDGsの目標を共有し、持続可能な自治体運営を進めていきます。</p> | |
| 4 | 取組 | 7-2-1 | 計画的な政策の推進 |
| | | 7-2-2 | 行財政改革の推進 |
| | | 7-2-3 | 健全な財政運営 |
| | | 7-2-4 | 公共施設等の計画的な保全・更新と資産の有効活用 |
| | | 7-2-5 | 組織機構の整備 |
| | | 7-2-6 | 使いやすい行政サービスの提供 |
| | | 7-2-7 | 電子自治体の推進 |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|---|-------------|-----|-------|---------|
| 1 | 事業名 | 7-2-1 | 次期総合戦略策定事業 | 担当課 | 政策企画課 | |
| | 目的 | 活動人口の増かやまちの活性化に向けたまちづくりを推進し、将来にわたって活力ある地域社会を実現するため、次期地方版総合戦略を策定する。 | | | 方向性 | R2 新規完了 |
| | 内容 | 前総合戦略を踏襲しつつ、次期総合戦略を策定する。 | | | R3 | |
| | | | | | R4 | |
| | | | | | R5 | |
| | | | | | R6 | |
| 2 | 事業名 | 7-2-2 | 行財政改革の推進 | 担当課 | 政策企画課 | |
| | 目的 | 多面的な視点で事務事業の課題を洗い出し、事業の手法について見直しを行い、事務の効率化を進めるなど、働き方改革を行う。 | | | 方向性 | R2 新規 |
| | 内容 | ①事務事業実績の細分化、事業の棚卸しを行う。 ②市独自の制度による事業を中心に効果を検証する。 | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| | | | | | R5 | 拡充 |
| | | | | | R6 | 拡充 |
| 3 | 事業名 | 7-2-3 | 市税等徴収事務事業 | 担当課 | 収納課 | |
| | 目的 | 1 24時間納税可能な納税環境を整備して納期内納付の向上と、非対面かつキャッシュレス方式による安全性の向上も図る。 2 口座振替申請書以外に、Web上での申し込みを行なうことで、申請書による記入・捺印不備や適用開始までの所要時間の短縮と、口座振替事務時間の削減を図る。 | | | 方向性 | R2 新規 |
| | 内容 | 1 ①コンビニ収納システムを活用したスマートフォン決済（モバイルレジ、LINE Pay）を導入する。（R2.5～） ②コンビニ収納システムを活用したスマートフォン決済（クレジットカード）を導入する。（R2.9～） 2 口座振替申請のWeb受付の導入をめざす。 | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | | R5 | 継続 |
| | | | | | R6 | 継続 |
| 4 | 事業名 | 7-2-4 | 庁舎エレベータ修繕事業 | 担当課 | 総務課 | |
| | 目的 | 庁舎エレベータ設備は、耐用年数（17年）が超過している。 また、平成21年の法改正で設置が義務付けられた「戸開走行保護装置」、「地震時管制運転装置」が備わっていない状態であることから、安全運行と機能の維持を図るため、早期の改修を行う。 | | | 方向性 | R2 拡充 |
| | 内容 | ピット内の一部の部材（レール・つり合いおもり等）を除く、全ての機器を更新する。 令和2年度：本館北エレベータ 令和3年度：南館東エレベータ 令和4年度：南館西・合同庁舎エレベータ | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| | | | | | R5 | |
| | | | | | R6 | |


2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|----|-----|--|---------|------|
| 5 | 事業名 | 7-2-4 公共施設全体最適化推進事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 公共施設の有効活用と全体最適化の実現に向け、長期的な視点から各施設のあり方を検討し、個別施設計画に反映するとともに、あり方検討を踏まえた施設所管課による施設機能の見直しに係る支援、部局をまたぐ案件に係る企画立案、庁内調整等を行う。 | 財産活用課 | |
| | 内容 | ①公共施設最適化方針の策定 ②最適化方針に基づく各課の事業立案、庁内検討 ③個別案件の検討、実施に係る支援 ④個別施設計画（最適化実行計画）の策定 ⑤ベンダーサポート終了に伴う公共施設マネジメント支援システムのクラウド化 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 6 | 事業名 | 7-2-4 公共施設計画保全推進事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 市民の安全を確保し、安定的に行政サービスを提供するため、限られた財源を有効に活用し、公共施設の適切な保全、減災化を推進するとともに、施設管理担当職員への技術的支援等により、全庁的な維持管理水準の底上げを図る。 | 財産活用課 | |
| | 内容 | ①公共施設構造体耐久性調査の実施 ②非構造部材（特定天井等）の耐震診断、対応方針の検討 ③公共施設点検マニュアルの改訂 ④個別施設計画（中長期保全計画）の策定 ⑤施設所管課による施設点検、劣化度判定の実施支援 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 7 | 事業名 | 7-2-4 施設予約システム導入・運営事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 従来、施設単位で構築、運用していた施設予約システムをクラウドシステムに一元化し、対象施設を大幅に拡大（4→47）することにより、ICTの活用による市民サービスの向上、事務の効率化を図るとともに、施設の利用促進、地域内での利用の平準化を図る。 | 財産活用課 | |
| | 内容 | ①公募型プロポーザル、システム構築 ②システム導入に合わせた施設予約手続き等の標準化、統一化 ③運用の開始 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 8 | 事業名 | 7-2-4 公共施設空調・照明設備改修事業 | 担当課 | |
| | 目的 | 平成30年度に実施した包括的空調設備更新調査結果を踏まえ、国際的なフロン規制の対象となる空調を有する47施設の計画的な設備更新を行う。また、令和2年の水銀灯、蛍光灯器具の製造中止に対応するため、照明のLED改修を計画的に実施する。 | 財産活用課 | |
| | 内容 | ①国庫補助を活用した3施設（市民体育館、斎場、ローズWAM）の空調・照明改修 ②年次計画による空調改修（7施設） ③保全方針に基づく照明設備改修 | 方向性 | |
| | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |
| 9 | 事業名 | 7-2-4 市立斎場告別式場棟の空調設備及び照明設備の改修 | 担当課 | |
| | 目的 | 空調設備や照明設備の効率的かつ効果的な更新を行うことで、CO2排出量の削減を図る。 | 市民課 | |
| | 内容 | 耐用年数を経過している空調機器を高効率機器に更新し、照明設備を低照度化やセンサー制御等の技術を採用した照明設備のLED改修を行うことで、CO2排出量削減を図る。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 新規完了 |
| | | | R3 | |
| R4 | | | | |
| R5 | | | | |
| R6 | | | | |
| 10 | 事業名 | 7-2-6 ぴったりサービス利用の推進 | 担当課 | |
| | 目的 | マイナンバーカードを活用した、ワンストップ手続きを可能とするぴったりサービスの利用を推進することで、市民と職員、双方の負担を軽減する。 | 情報システム課 | |
| | 内容 | 国の動向を踏まえ、介護ワンストップサービス等のぴったりサービス取扱い手続の拡充を図る。 | 方向性 | |
| | | | R2 | 拡充 |
| | | | R3 | 継続 |
| R4 | | | 継続 | |
| R5 | 継続 | | | |
| R6 | 継続 | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|------------------------|-----|---------|----|
| 11 | 事業名 | 7-2-6 | マイナンバーカード普及事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 様々な申請方法を検討・実施することにより、マイナンバーカードの普及を促進し、安全・安心で利便性の高いデジタル社会の実現を図る。 | | | 市民課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 申請のやり方がわからない市民を対象に申請手を支援する。 公的個人認証の更新関連事務を行う。 庁舎内に特設コーナーを設置したり、商業施設やイベント会場などに職員が出向き、申請受付する方式を実施する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 12 | 事業名 | 7-2-7 | 「情報システム調達ガイドライン」の整備・拡充 | 担当課 | | |
| | 目的 | 「情報システム調達ガイドライン」を整備し、システム調達後の運用プロセス、効果測定、評価について標準化を行い、本番稼働後のシステム運用から廃棄にいたるまでのガイドラインを策定する。 | | | 情報システム課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 情報システムの運用保守を適切に実施するための手引きを策定する。また、調達結果を次にいかすための評価ができるようガイドライン全般の拡充を行う。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 完了 |
| | | | | | R4 | 廃止 |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 13 | 事業名 | 7-2-7 | 情報システム全体最適化管理事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | ホストシステムや標準化されていないオープン系システム全体を最適化するために調達、開発及び運用を適正に行う。 | | | 情報システム課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 適正なシステム調達を行うための支援を行う。また、調達・開発プロジェクトの進捗管理を行い、適正にプロジェクトが完了できるように支援を行う。 | | | R2 | 縮小 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | 廃止 | |
| R6 | | | | | | |
| 14 | 事業名 | 7-2-7 | 新たなICT利活用の推進 | 担当課 | | |
| | 目的 | AIやRPA等を積極的に利活用できる庁内環境を整備し、行政サービスにおける、QOLの向上や内部事務の迅速化・ノウハウや知識の共有化を図り、将来的には職員の働き方改革を図る。 | | | 情報システム課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 事務の遂行スピードと品質の安定、属人化の解消や、長時間労働の抑止を図るため、RPA及びAI-OCRを導入する。また、市公式総合アプリ「いばライフ」の機能拡張を行う。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| R5 | | | | | 拡充 | |
| R6 | 拡充 | | | | | |
| 15 | 事業名 | 7-2-7 | インフラシステムの最適化 | 担当課 | | |
| | 目的 | インフラシステムを最適化することで職員のパフォーマンスを向上させる。 | | | 情報システム課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 職員の働き方改革に向けた2in1端末の導入及び本庁内の庁内ネットワークの無線化を拡充する。また、新しい生活様式に合わせた行政運営を行うための、新たなICTインフラシステムの構築を検討する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| R5 | | | | | 拡充 | |
| R6 | 完了 | | | | | |




1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 7-3 | 地域社会の発展に貢献できる職員を育成する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 市職員が全体の奉仕者として、高い倫理観と基礎自治体における行政の担い手としての強い使命感を持つとともに、地域の実情に柔軟できめ細やかに対応し、市民とともに課題解決を図る意識や能力の高い職員の育成に努めます。 | |
| 4 | 取組 | 7-3-1 | 職員の能力開発 |
| | | 7-3-2 | 人材育成に主眼をおいた人事制度の確立 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|---|------------|-----|-----|----|
| 1 | 事業名 | 7-3-2 | 人事給与制度の見直し | 担当課 | | |
| | 目的 | すべての職員が高い意欲を持って職務に励むことができるように、人事給与制度全般に関する見直しを行う。 | | | 人事課 | |
| | | | | | 方向性 | |
| | 内容 | 主に「管理職制度の見直し」「複線型人事制度の創設」「人事評価制度の見直し」「働き方改革」について順次検討を進め、実施する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 拡充 |
| R5 | | | | | 拡充 | |
| | | | | R6 | 拡充 | |



1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|------------------------------|
| 1 | 施策 | 7-4 | 人権尊重のまちづくりを推進するとともに平和の実現をめざす |
| 2 | 対応するSDGs |    | |
| 3 | 施策の方向性 | 核兵器の恐ろしさや平和の尊さの認識を深めるとともに、核兵器の廃絶に向けた取組を進めます。市民一人ひとりの人権が尊重・擁護された差別のないまちづくりの実現に向けて、すべての施策を人権尊重の視点に立って推進します。市が保有する個人情報適切に保護するとともに、個人情報保護に必要な施策を推進します。 | |
| 4 | 取組 | 7-4-1 | 生命の尊さを守る非核平和社会の実現 |
| | | 7-4-2 | 一人ひとりの人権を尊重するまちづくりの推進 |
| | | 7-4-3 | 個人情報保護への対応 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | |
|---|-----|---|---------------------------------|--|
| 1 | 事業名 | 7-4-2 | 防災訓練事業（いのち・愛・ゆめセンター3館（R2年度は2館）） | 担当課 |
| | 目的 | 地域におけるセーフティネットワーク強化の一環として、災害時を想定した避難訓練の実施を通じて、地域における災害時の課題を共有するとともに、課題を抱える方を発見し、相談につなげることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を目的とする。また、自主防災会未設置の豊川地区においては、その結成につなげる。 | | 人権・男女共生課 |
| | 内容 | 豊川いのち・愛・ゆめセンターにおける防災訓練の経験を活かし、愛センター3館（R2年度は2館）において、要配慮者等を対象とした防災訓練（夜間訓練、避難所開設・運営訓練（1泊））を実施する。また、参加意識と訓練の効果を高めるため、事前研修や振り返り等をセットで実施する。 | | 方向性 R2 拡充 R3 継続 R4 継続 R5 廃止 R6 |
| 2 | 事業名 | 7-4-2 | 外国人住民サポート事業（いのち・愛・ゆめセンター3館） | 担当課 |
| | 目的 | 新たな在留資格の創設に伴い、事業所等での外国人材の受入れが拡大し、多言語対応が必要な生活全般に関する相談利用者の増加が見込まれることから、生活上の様々な相談・支援への確に対応するための体制を充実し、多文化共生に配慮した地域の醸成につなげることを目的とする。 | | 人権・男女共生課 |
| | 内容 | 生活上の相談に対応する総合相談員では、多言語対応が難しい場合もあることから、予約制による通訳者を配置し、円滑で的確な支援につなげる。また、今後の外国人利用者の増加も見込み、外国人をサポートする人材を育成するため、講習会を実施する。 | | 方向性 R2 新規 R3 継続 R4 継続 R5 継続 R6 継続 |
| 3 | 事業名 | 7-4-2 | 第2次人権施策推進計画の見直し | 担当課 |
| | 目的 | 令和3（2021）年度が計画の5年目にあたることから、国の法制度や社会経済情勢などを踏まえ、計画の中間見直しを行う。 | | 人権・男女共生課 |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 人権問題に関する市民意識調査の実施（R3年度） 調査結果の分析、報告書作成（R3年度） 計画の見直し（R4年度） | | 方向性 R2 継続 R3 臨時拡充 R4 完了 R5 R6 |
| 4 | 事業名 | 7-4-2 | 沢良宜いのち・愛・ゆめセンター外壁及び屋上防水改修工事 | 担当課 |
| | 目的 | 施設利用者が安全で、快適に利用できるように、外壁改修、防水改修等を行い、施設の長寿命化を図る。 | | 人権・男女共生課 |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 設計委託に基づき本館外壁改修、屋上防水改修等の工事实施（R2年度） 分館外壁改修、屋上防水改修等の工事に係る設計委託の実施検討（R3年度） 分館外壁改修、屋上防水改修等の工事实施（R4年度） | | 方向性 R2 臨時拡充 R3 臨時拡充 R4 完了 R5 R6 |



1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|-----------------------|
| 1 | 施策 | 7-5 | 市民とともに男女共同参画社会の実現をめざす |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | 「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女が互いの人権を尊重しつつ、性別にかかわらず、いきいきと暮らすことのできる男女共同参画社会の実現をめざします。 | |
| 4 | 取組 | 7-5-1 | 市民と協働した男女共同参画の推進 |
| | | 7-5-2 | DVの予防啓発及び被害者の支援 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|----|-----|--|-----------------------------|-----|----------|------|
| 1 | 事業名 | 7-5-1 | 第3次茨木市男女共同参画計画策定事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | 現計画（第2次茨木市男女共同参画計画改訂版）は2017年度（H29）から2021年度（R3）の計画であるため、社会情勢の変化や男女共同参画をとりまく環境の変化を勘案し、新たに第3次茨木市男女共同参画計画（2023年度から2027年度）を策定する。 | | | 人権・男女共生課 | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査の内容検討・実施・分析（R3年度） 現計画の評価・新たな計画の策定（R4年度） | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 臨時拡充 |
| | | | | | R4 | 完了 |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 7-5-1 | 男女共生センターローズWAM20周年における事業の拡充 | 担当課 | | |
| | 目的 | 2020年（令和2年）4月1日に男女共生センターローズWAMが開所20周年を迎えるこの節目をとらえ、改めて男女共同参画の意義を広く周知するとともに、ローズWAMでの取り組みを紹介するなどし、ローズWAMの認知度アップ、センター事業参加者の増を図る。 | | | 人権・男女共生課 | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間記念講演会を20周年事業と位置づけ拡大 ②ローズWAM1階エントランスでの啓発ポスター20年史展示 | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 臨時拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| R5 | | | | | 継続 | |
| R6 | 継続 | | | | | |
| 3 | 事業名 | 7-5-1 | 男女共生センター空調設備改修及び照明LED化 | 担当課 | | |
| | 目的 | 空調設備の老朽化に伴う総合的な空調システム更新及び施設内の照明をLED化することで、施設の長寿命化を図り、市民のみなさんへの安定的なサービス提供を図る。 | | | 人権・男女共生課 | |
| | 内容 | 下半期に改修工事（空調設備更新、屋上防水改修、照明LED化）を実施する。（R2年度） | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 新規完了 |
| | | | | | R3 | |
| | | | | | R4 | |
| R5 | | | | | | |
| R6 | | | | | | |


1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|---|----------------------|
| 1 | 施策 | 7-6 | 地域コミュニティを育み地域自治を支援する |
| 2 | 対応するSDGs |   | |
| 3 | 施策の方向性 | <p>官民連携した自治会への加入促進などにより、自治会活動の活性化を図るとともに、より多くの市民が利用できる地域活動の拠点の整備（公民館のコミセン化）を進めます。また、様々な地域組織の連携・協働を促進する、地域が一体となった「地域自治組織」の結成を推進し、地域が主体的に行う取組の支援に努めるとともに、市民の「地域」に対する関心を高め、「地域づくりは自らの手で」という意識の醸成に努めます。</p> | |
| 4 | 取組 | 7-6-1 | コミュニティ活動の推進 |
| | | 7-6-2 | コミュニティ施設の整備 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|--|---------------------|-----|---------|----|
| 1 | 事業名 | 7-6-2 | 公民館のコミュニティセンター化事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | <p>地域活動の拠点として、公民館のコミュニティセンター化を進めており、様々な地域組織をはじめ、市民活動団体や民間事業などの利用促進を図るとともに、より一層、様々な地域組織等が一体となって活動できる地域活動の拠点が必要である。</p> | | | 市民協働推進課 | |
| | 内容 | <p>令和2年4月から玉櫛公民館をコミュニティセンター化するほか、地域コミュニティ基本指針の進捗状況や地域の実情を把握するための意識調査を踏まえつつ、必要に応じて、地域と共に、公民館のコミュニティセンター化に向けた勉強会を開催する。</p> | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 拡充 |
| | | | | | R3 | 継続 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |
| 2 | 事業名 | 7-6-2 | コミュニティセンター管理運営適正化事業 | 担当課 | | |
| | 目的 | <p>既存のコミュニティセンター並びに公民館のコミセン化による移行施設の管理運営を行い、コミュニティセンターが地域活動の拠点施設として、地域コミュニティの醸成に資することを目的とする。</p> | | | 市民協働推進課 | |
| | 内容 | <p>各コミュニティセンターの指定管理者（地域の方々）の代表者（10人程度）で構成される検討委員会を設置し、管理運営の現状を把握し、統一すべき範囲や独自ルールを適用する際のルールづくりを地域の方々と共に検討する。</p> | | | 方向性 | |
| | | | | | R2 | 継続 |
| | | | | | R3 | 拡充 |
| | | | | | R4 | 継続 |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |

1 施策の概要

| | | | |
|---|----------|--|------------------------|
| 1 | 施策 | 7-7 | 多様な主体による協働のまちづくりを推進する |
| 2 | 対応するSDGs |  | |
| 3 | 施策の方向性 | 今後も引き続き、多くの市民が市民活動に参加できるようNPO等の活動情報の集積・発信はもとより、様々な媒体を通じて積極的に行政情報を提供するとともに、多様な主体が連携・協力できる環境整備に努めます。また、まちづくり、福祉、教育、子育てなどの様々な分野において市民、事業者、NPO、大学、行政などの多様な主体が互いを補完しながら、最善の事業手法でまちづくりに取り組みます。 | |
| 4 | 取組 | 7-7-1 | 協働とパートナーシップによるまちづくりの推進 |
| | | 7-7-2 | 行政の透明性の向上 |
| | | 7-7-3 | 協働のまちづくりを推進するための広報広聴活動 |
| | | 7-7-4 | 大学との連携によるまちづくりの推進 |
| | | | |
| | | | |

2 新規・拡充事業等

| | | | | | | |
|---|-----|---|--|-----|---------|----|
| 1 | 事業名 | 7-7-1 | 市民公益活動支援事業 | 担当課 | 市民協働推進課 | |
| | 目的 | 各種市民活動団体から公益活動の提案を受け、市が補助することによって、市民が主体となった地域課題等の解決を支援し、より一層、多様な主体による協働のまちづくりを推進することを目的とする。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 提案公募型補助制度（チャレンジいばらき補助金）による市民公益活動を推進するとともに、その審査及び適切な審議会の運営に努めるほか、新型コロナウイルス感染拡大予防策の創意工夫した取組を支援する。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | R3 | 継続 | |
| | | | | R4 | 継続 | |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |
| | | | | | | |
| 2 | 事業名 | 7-7-1 | 「リノベのいばらき～ Do It Ourselves ～」プロジェクトの拡充 | 担当課 | 政策企画課 | |
| | 目的 | 楽しく活動できる場を市民に提供することで、活動人口の増加を図り、もって、まちの持続的発展をめざす。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 運営体制の見直しを行い、体制基盤を整えるとともに、気軽に入りやすい店構えや仕掛けづくり、戦略的なワークショップ等を実施するなど、活動人口の増につながる取組を実験的に展開し、様々な人がチャレンジできる場の提供を行う。 | | | R2 | 拡充 |
| | | | | R3 | 継続 | |
| | | | | R4 | 継続 | |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |
| | | | | | | |
| 3 | 事業名 | 7-7-4 | いばらき×大学連携共同研究事業 | 担当課 | 政策企画課 | |
| | 目的 | 大学の持つ「知」と本市の課題をマッチングし、事業化する大学連携の仕組みを構築することにより、大学での研究の一助となるとともに、本市の課題解決を図る。 | | | 方向性 | |
| | 内容 | 市と大学の相互から、地域の発展や課題解決にかかる提案の募集及び各課と教授とのマッチングを行う。 | | | R2 | 新規 |
| | | | | R3 | 継続 | |
| | | | | R4 | 継続 | |
| | | | | R5 | 継続 | |
| | | | | R6 | 継続 | |